

第2章 現況の整理

2-1 多気町の変遷

(1) 多気町の変遷

平成18年1月1日、多気町と鷺和村が合併し、新多気町が誕生しました。

多気町は昭和30年、相可町、佐系村、津田村が合併して誕生し、その後、昭和34年に西外城田村を編入しています。

一方、鷺和村は、昭和30年に五ヶ谷村と丹生村が合併して誕生し、同じ年に隣接する松阪市に合併していた茅広江村の上出江・下出江地区が分離し編入されました。

多気町の北側から西側にかけては松阪市、東側は明和町、玉城町、南側は医会町及び大台町に接しています。



(2) 面積

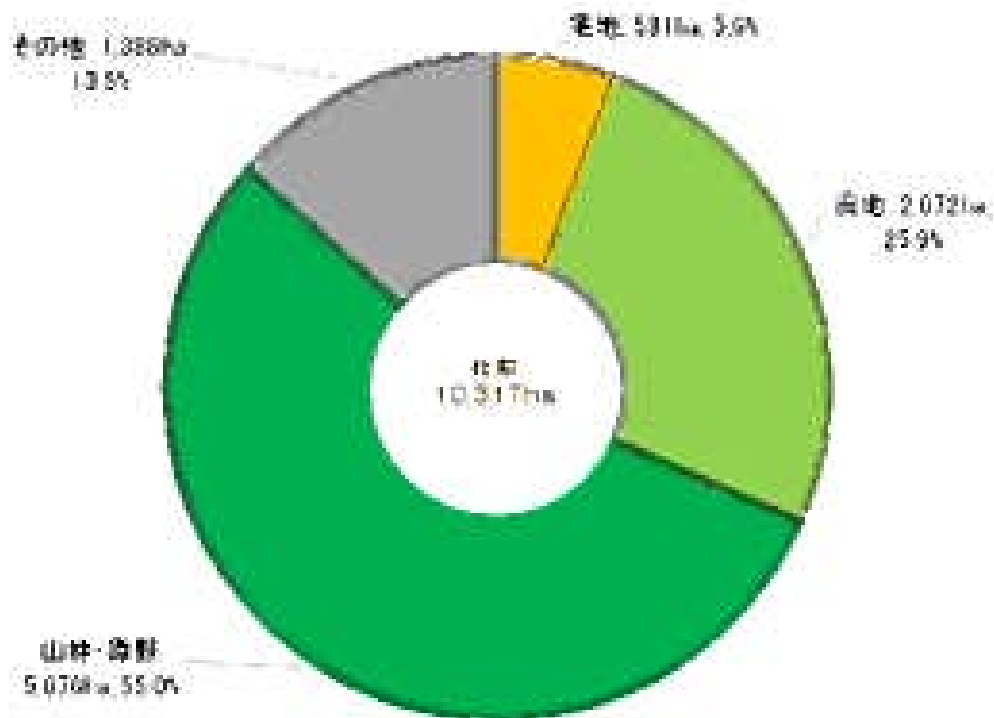
本町の総面積は 10,317ha であり、地目別面積をみると、最も面積が大きいのは山林・原野の 5,676ha(55.0%)、続いて農地(田・畑)の 2,672ha(25.9%)、その他が 1,388ha(13.5%)、宅地 581ha(5.6%) となっています。

■多気町全域の地目別面積

地目	名目	面積	割合	計
宅地	宅地	581ha	5.6%	10,317ha 100.0%
農地	農地(田・畑)	2,672ha	25.9%	
山林・原野	山林・原野	5,676ha	55.0%	
その他	その他	1,388ha	13.5%	

資料：多気町統計資料 2010

■多気町全域の地目別面積の状況



資料：多気町統計資料 2010

2-2 人口

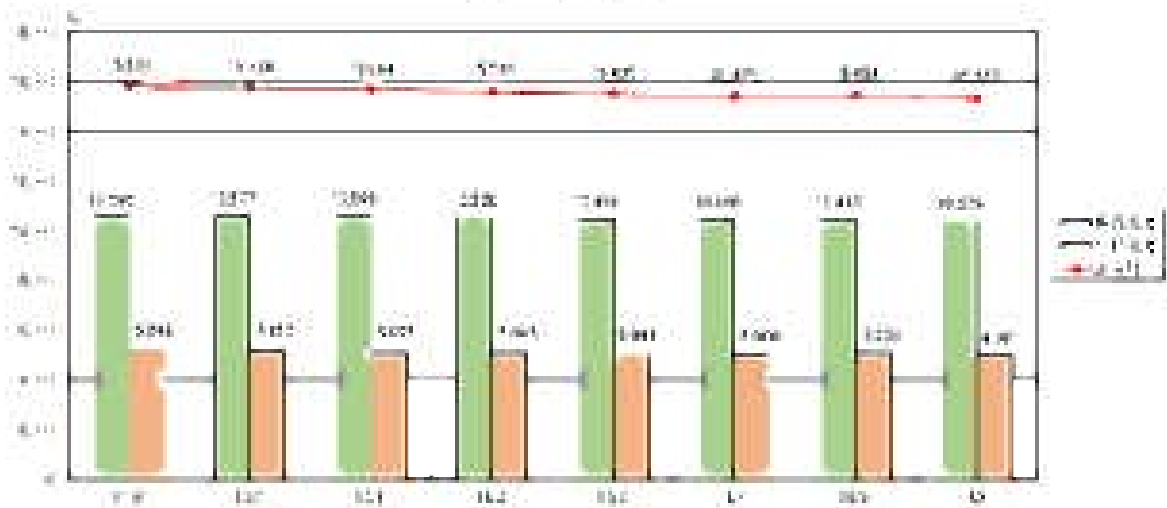
(1) 人口・世帯の推移

本町の住民基本台帳による人口及び世帯数の推移をみると、平成26年4月現在の人口は15,337人で、平成19年以降、多喜地域（旧多喜町）、勢和地域ともに微減傾向にあります。

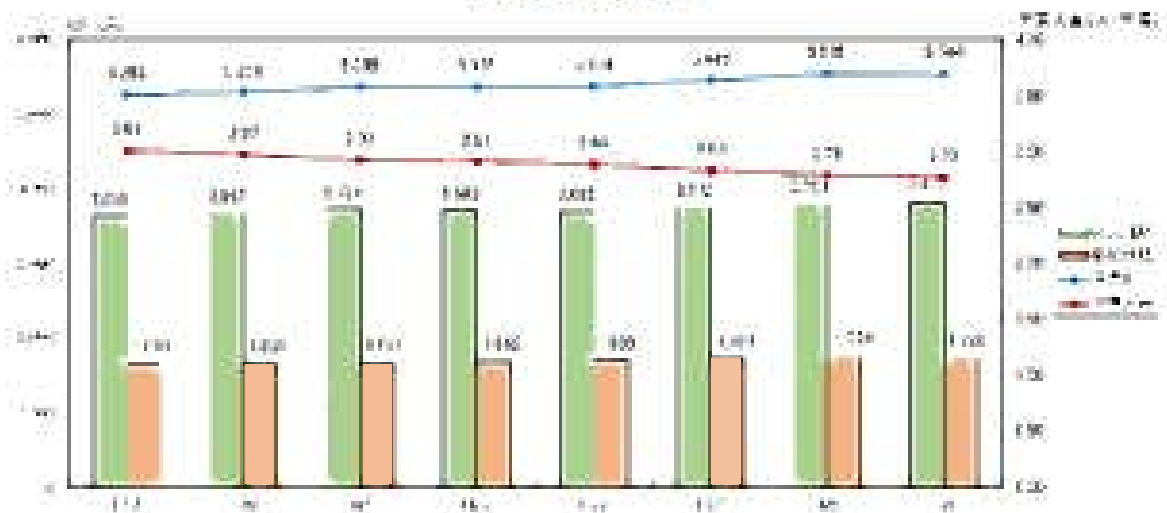
一方、平成26年4月の世帯数は5,540世帯で、平成19年以降、多喜地域、勢和地域ともに微増傾向にあります。

なお、世帯人員は平成26年4月現在277人/世帯となっており、平成19年以降、核家族化等により減少傾向にあります。

■人口の推移



■世帯数の推移



資料：多喜町資料

(2) 都市計画区域内外の人口

平成25年の住民基本台帳によれば、都市計画区域内に9,617人（多気町人口の約53%）、3,554世帯（多気町世帯の約54%）の属性があります。

都市計画区域外には5,720人（同約37%）、1,986世帯（同約30%）の属性があります。

■ 都市計画区域内外の人口

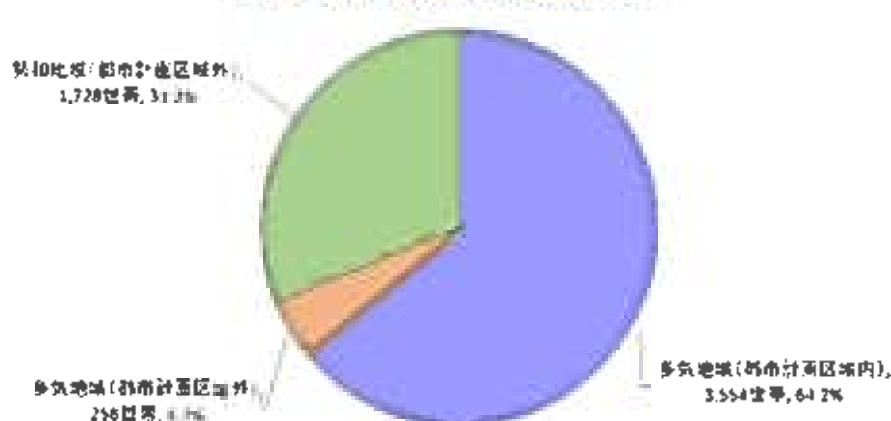
区 分		平成25年（住民基本台帳）			
		人口（人）	割合（%）	世帯数（戸）	割合（%）
多気地域	都市計画区域内	9,617	52.7	3,554	54.2
	〃 区域外	759	5.0	258	4.7
	多気地域計	10,376	57.7	3,812	58.9
勢和地域	都市計画区域外	4,951	32.3	1,728	31.1
都市計画区域外計		5,720	37.3	1,986	35.8
多気町		15,337	100.0	5,540	100.0

資料：住民基本台帳（4月1日）

■ 人口（都市計画区域内外）



■ 世帯数（都市計画区域内外）

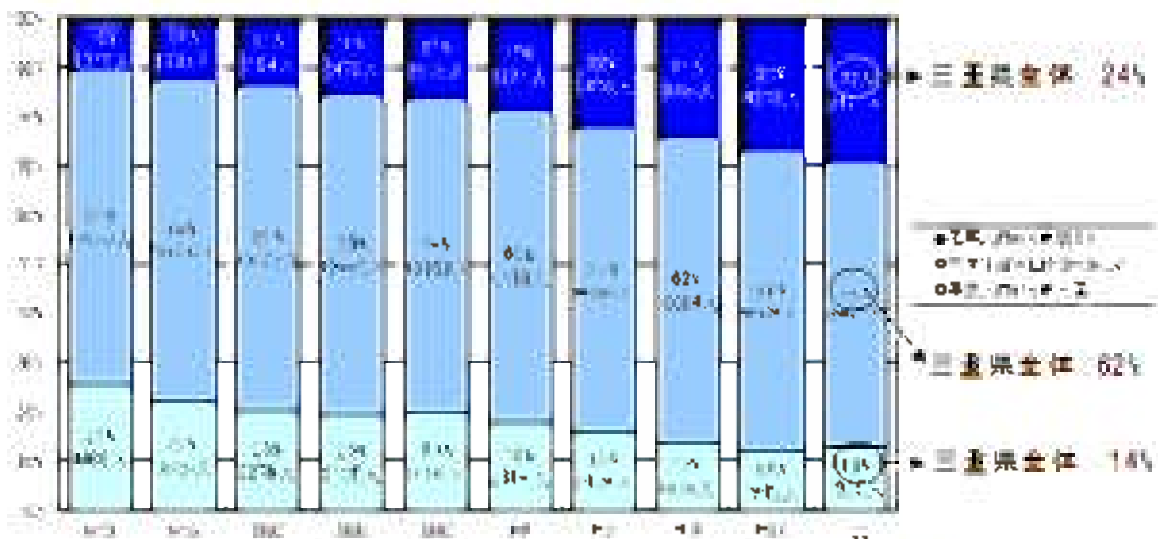


〔3〕 少子高齢化の状況

本町の平成 22 年現在の年齢別人口割合は、老年人口が 29%、生産年齢人口が 58%、年少人口が 13%であり、三重県全体（老年人口 24%、生産年齢人口 62%、年少人口 14%）と比較して、年少人口と生産年齢人口の割合が低く、老年人口の割合が高い構成となっています。

10年前の平成 12年と比較すると、年少人口割合は増はい（年少人口は減少）ですが、老年人口割合が5%増加しており、少子高齢化が進んでいるといえます。

■ 少子高齢化の状況



資料 三重県市町村実況統計表（国勢調査）

■ 少子高齢化の状況

区分	年	3-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100+
		人口数(人)	1,292	1,208	1,337	1,221	1,628	1,420	2,173	2,422	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720
割合 (%)	11	11	12	11	14	13	19	21	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
年少人口(人)	人口数(人)	1,292	1,208	1,337	1,221	1,628	1,420	2,173	2,422	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720
	割合 (%)	11	11	12	11	14	13	19	21	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
	人口数(人)	1,292	1,208	1,337	1,221	1,628	1,420	2,173	2,422	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720
	割合 (%)	11	11	12	11	14	13	19	21	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
生産年齢人口(人)	人口数(人)	7,111	8,028	8,808	8,824	8,700	8,480	8,447	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
	割合 (%)	62	68	77	73	52	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58
	人口数(人)	15,877	16,018	16,727	16,845	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878	16,878
	割合 (%)	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
老年人口(人)	人口数(人)	2,720	2,699	2,720	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699	2,699
	割合 (%)	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
	人口数(人)	17,112	16,174	16,137	16,244	16,154	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691	16,691
	割合 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

資料 三重県市町村実況統計表

〔4〕産業別就業人口

本町で働く就業人口は、平成17年から22年にかけて大きく減少しています。平成22年の就業者割合は、第1次産業が10.6%（県4.0%）、第2次が50.9%（県33.6%）、第3次が38.5%（県62.4%）となっています。本町は三重県平均と比較すると、第1次、第2次産業の従業員割合が高く、第3次は低くなっています。

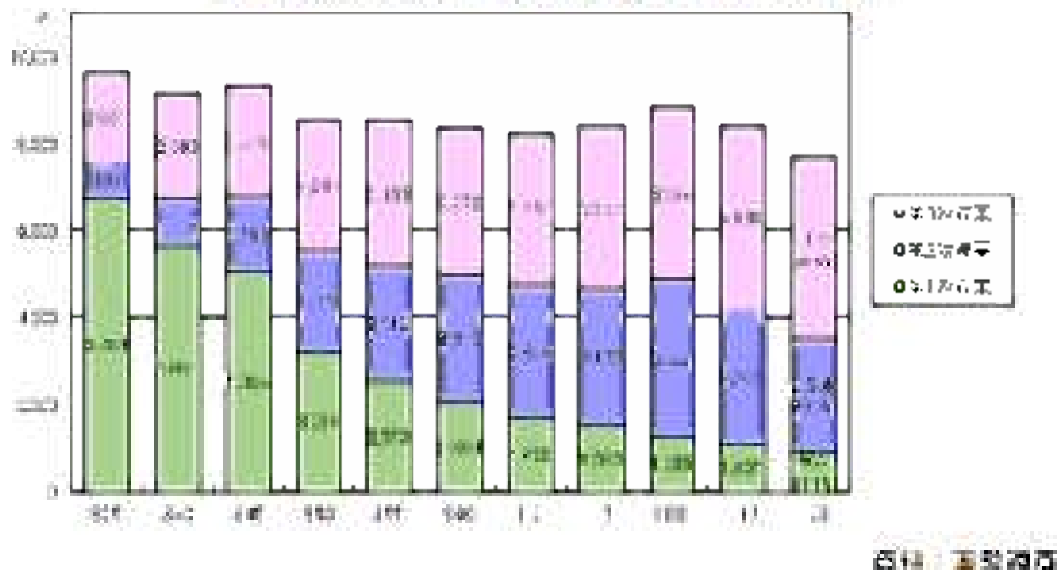
なお、昭和35年から平成17年までは、第1次産業就業者は年々減少し、第2次産業が増加する傾向にありましたが、平成22年に減少に転じています。第3次産業は平成17年までは増減傾向にあり、平成22年に減少に転じています。

平成7年までは、町外への通勤者が多くはなっていますが、企業進出にともない平成12年～17年に、周辺市町からの通勤者が増減しました。しかしながら、土地企業の不景等により、平成22年に流入は減少しています。

■産業別就業人口（従属地：本町で働く就業者）



■産業別就業人口（居住地：本町に住む就業者）



資料：国勢調査

(5) 人口動態

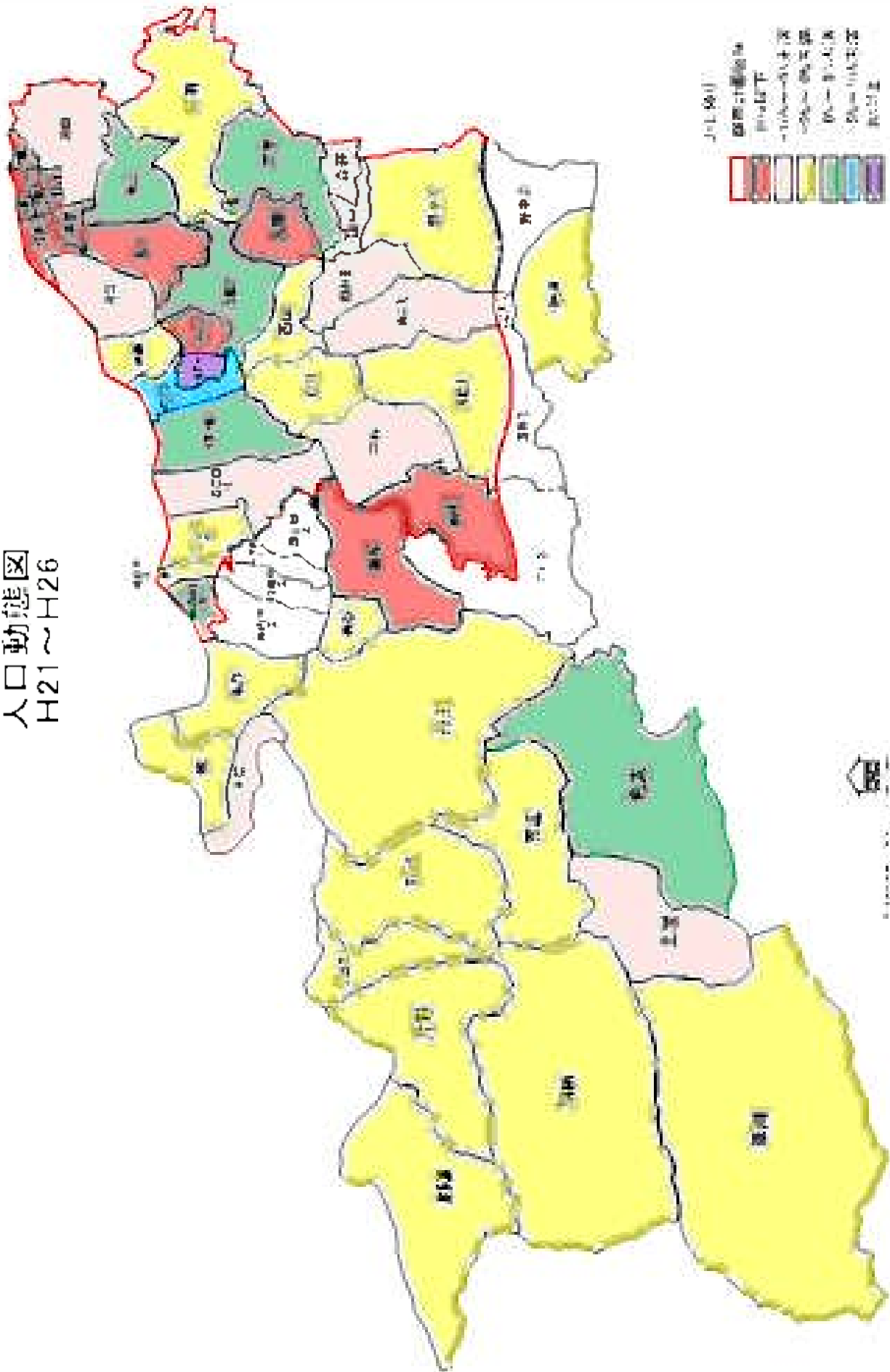
縣市計画区域内の人口動態を住民基本台帳でみると、「相可台」が5年間で約28%（282人）の増加を示しています。一方、「シャープ」は約41%（134人）と大きな減少を示しています。

■人口動態（平成21～26年）

地区	行政区	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成21～26年 増加数(人)	平成21～26年 増加率(%)	
相可	相可一区	956	957	991	990	1006	1013	47	4.9%	
	相可二区	493	453	469	477	499	516	33	6.8%	
	夏森	119	119	120	113	112	113	-4	-3.4%	
	尻沼	225	217	209	209	208	204	-21	-9.3%	
	上船友	76	73	72	70	69	67	-9	-11.8%	
	中船友	59	56	55	56	55	51	-8	-13.6%	
	下船友	57	57	57	52	51	49	-8	-14.0%	
	原神酒	120	117	113	114	112	103	-13	-12.5%	
	北神区	111	110	101	101	100	96	-13	-13.5%	
	河田	198	199	193	193	183	180	-18	-9.1%	
	多志	259	248	238	238	233	233	-26	-10.0%	
	黒池上	207	211	216	213	212	215	8	3.9%	
	西池上	376	358	354	343	344	336	-40	-10.6%	
	相可全	1019	1073	1126	1167	1228	1302	282	27.8%	
	佐家	五佐家	376	383	393	387	384	380	4	1.1%
		西山	146	142	140	136	136	142	-4	-2.7%
四神田		203	206	203	197	193	193	-20	-9.9%	
油去上		202	204	202	197	192	187	-13	-7.4%	
五神上		428	431	428	416	422	412	-16	-3.7%	
仁田		335	336	339	331	344	329	-6	-1.8%	
平谷		473	475	466	458	448	426	-43	-9.3%	
山村上		337	337	329	319	309	302	-35	-10.4%	
シャープ		390	264	221	237	205	155	-134	-34.5%	
神坂		220	209	204	207	202	188	-32	-14.5%	
左谷		47	44	42	42	46	43	-2	-4.3%	
津田	津内林上	221	223	217	211	226	229	8	3.6%	
	佐伯中上	131	131	134	133	131	129	-2	-1.5%	
	三宅田上	439	433	431	433	422	429	-10	-2.3%	
	四王田上	370	374	361	361	346	343	-27	-7.3%	
	津留	114	118	117	113	114	106	-8	-7.0%	
	坂	158	157	161	159	160	157	-1	-0.6%	
	柳形	110	109	109	106	105	103	-3	-4.5%	
	外城田	447	438	433	433	424	421	-26	-5.8%	
外城田	野中上	123	126	122	121	120	114	-11	-8.8%	
	曇花	162	162	158	156	153	151	-11	-6.6%	
	矢田	98	93	88	87	83	82	-16	-16.3%	
	宮木	234	240	238	239	234	241	7	3.0%	
	土羽	453	459	449	440	442	437	-16	-3.5%	
	相原東	133	134	133	133	134	130	-3	-3.2%	
	更田	波多東	598	591	579	580	593	577	-21	-3.5%
		片野	922	928	912	891	914	910	-12	-1.3%
		新橋	609	614	618	601	608	587	-22	-3.6%
		古江	306	303	312	310	310	304	-2	-0.7%
色太		411	413	424	428	440	432	21	5.1%	
土塚		133	135	127	124	120	122	-11	-8.3%	
曇川		148	148	152	149	148	146	-2	-1.4%	
上出江		327	327	323	323	317	312	-13	-4.6%	
丹生	559	559	552	551	563	551	-8	-1.4%		
合計	13,664	13,393	13,499	13,420	13,464	13,337	-327	-2.1%		

資料：住民基本台帳（平成21年～26年）

人口動態図 H21～H26



2-3 土地利用

(1) 土地利用現況

都市計画区域内の土地利用をみると、住居系の土地利用は、相可台団地に集積が多いほかは、鶴地部に集積地が点在しています。

商業系の土地利用は、国道42号沿道を中心に集積しています。

工業系の土地利用は、相可台団地東の多気工業団地に立地するシャープ株式会社三菱工場と東部の株式会社ダイヘン三菱営業所のほかは、小規模なものが多いです。

非宅地のうち農地は、樋田川、佐奈川、外城田川の扇状地を中心に水田・畑が約37%を占めています。また、山林・原野は南部の紀伊山地及び西部・東部の丘陵地を中心に約37%を占めています。

なお、用途地域は、都市計画区域の面積の約53%を占めており、宅地は81.57ha(24%)、非宅地は128.93ha(38%)となっています。

■土地利用現況（都市計画区域内）

区分	面積	宅地				非宅地				合計
		住居系	商業系	工業系	小計	農地	山林・原野	その他	小計	
都市計画区域	ha	172.61	29.36	72.95	274.82	1,236.12	1,234.75	606.34	3,077.19	3,352.01
	%	52	9	22	82	38.9	38.8	18.1	91.8	100.0
用途地域	ha	30.63	17.48	33.46	81.57	22.03	40.66	66.04	128.93	210.50
	%	0.9	0.5	1.0	2.4	0.7	1.2	2.0	3.8	6.3
用途地域外	ha	141.98	11.88	39.39	193.25	1,213.89	1,194.08	540.30	2,948.25	3,141.50
	%	42	0.4	1.2	5.8	38.2	35.6	16.1	89.0	93.7

資料：平成24年度都市計画基礎調査

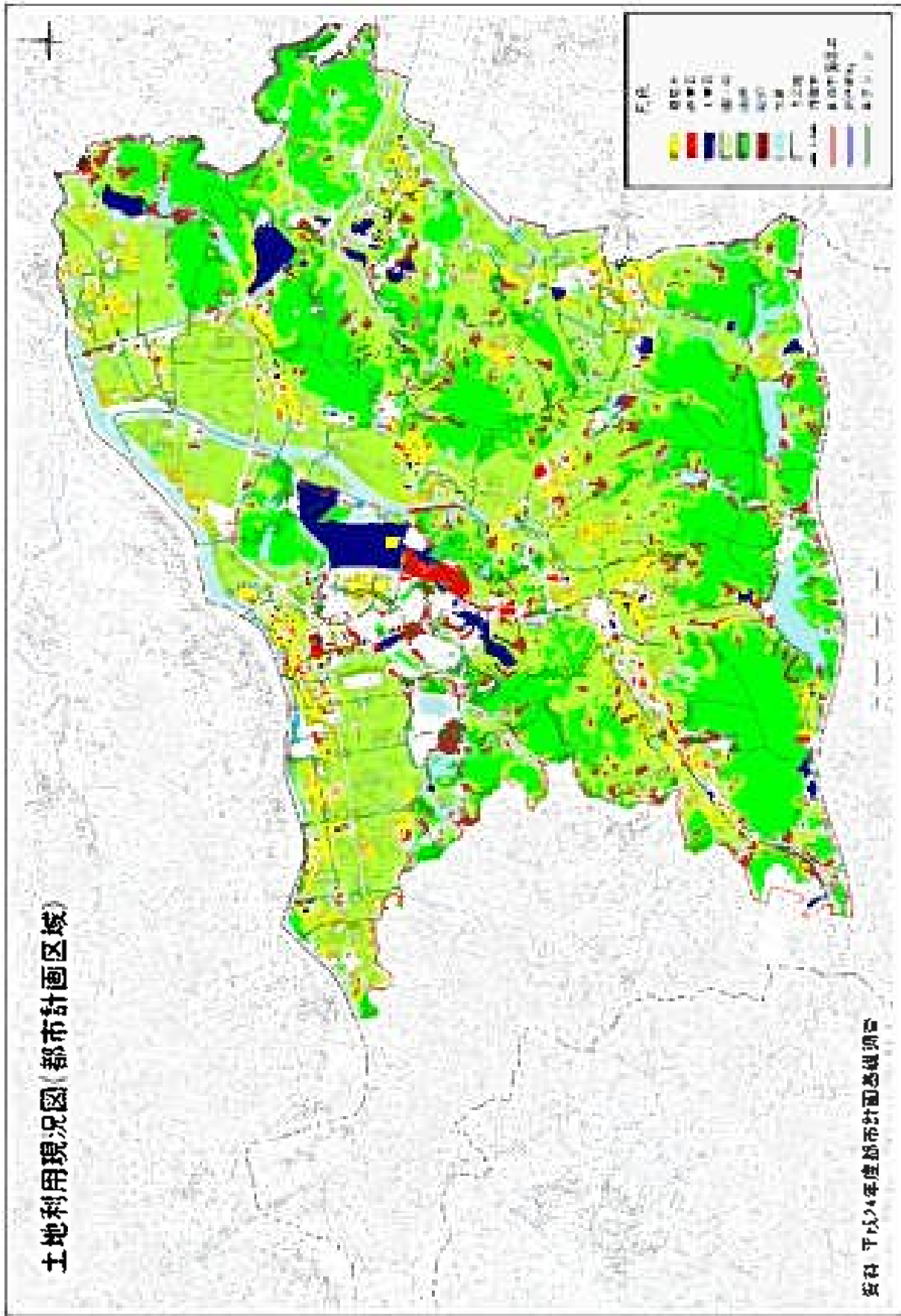
(2) 用途地域の状況

用途地域は、平成20年9月30日に210.5ha指定され、その後、平成25年3月21日に一部変更指定がなされています。面積は、工業地域の81.2ha(38.6%)が一番大きく、次いで第1種住居地域55.6ha(26.4%)、第1種低層住居専用地域23.7ha(11.3%)などの順となっています。

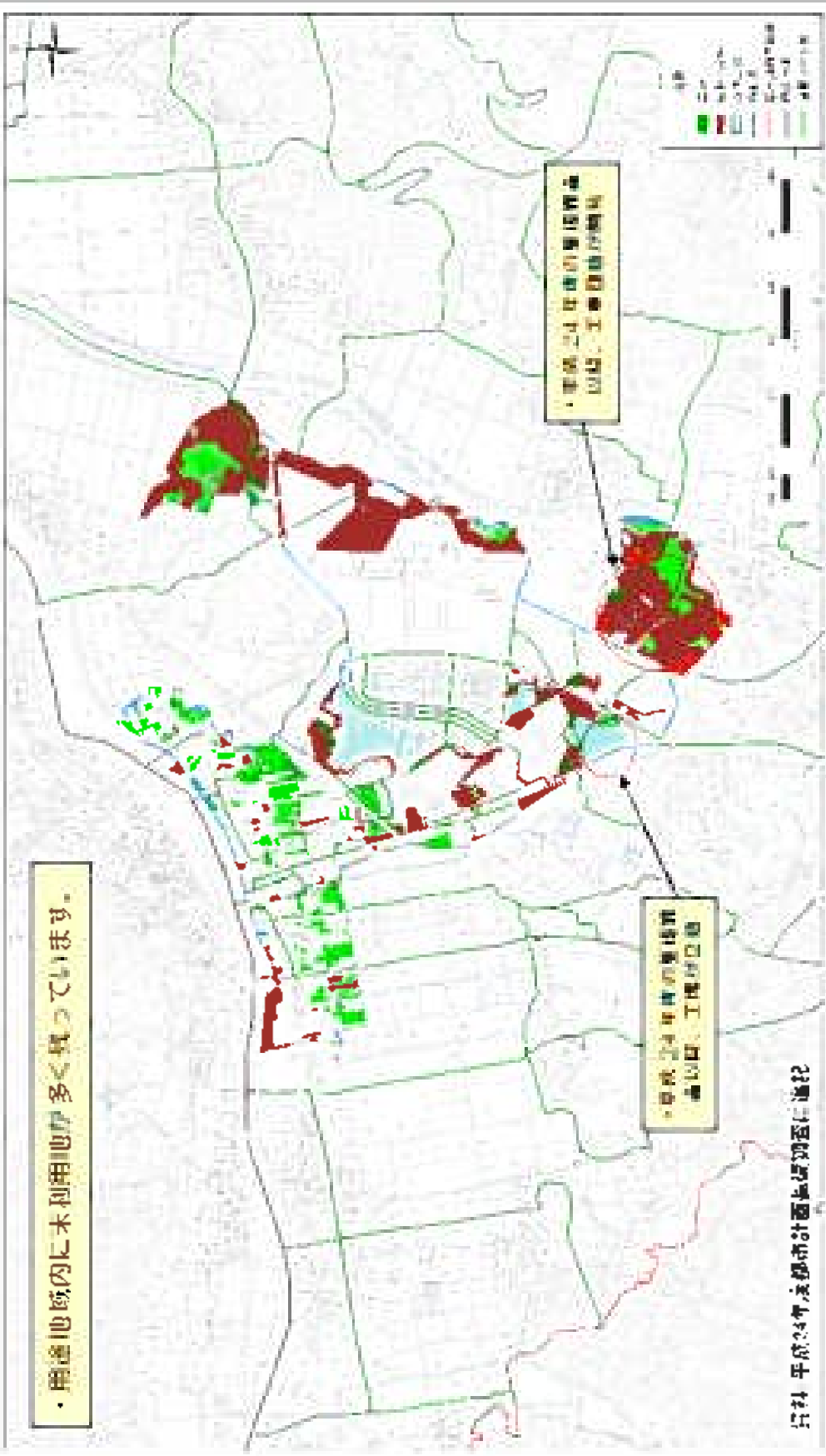
■用途地域の指定状況

区分	第1種 低層住居 専用地域	第2種 低層住居 専用地域	第1種 住居地域	第2種 住居地域	第1種 住居 地域	商業 地域	準工業 地域	工業 地域	計
面積(ha)	23.7	3.8	55.6	14.1	1.6	16.0	15.6	81.2	210.5
割合(%)	11.3	1.8	26.4	6.7	0.7	7.1	7.4	38.6	100.0

資料：多気都市計画図（平成25年3月現在）

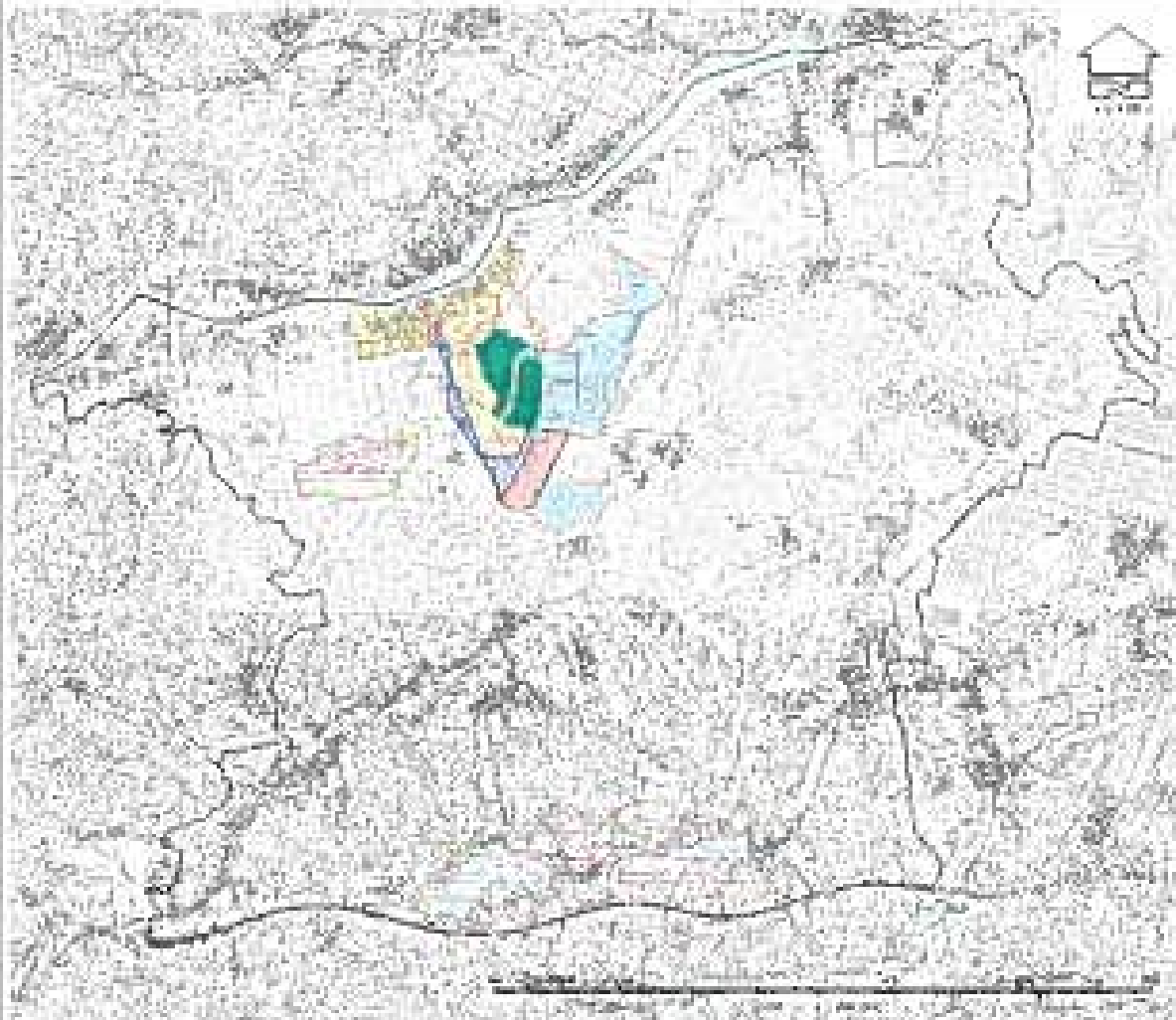


用途地域内の未利用地図



■都市計画の状況

- ・都市計画区域は平成18年9月15日（指定）
- ・用途地域は平成20年9月30日（当初決定）、
 一部を準工業地域に変更（平成25年3月21日）
- ・その他の地域地区
 特別用途地区、特定用途制限地域、準防火地域、風致地区



種別	名称	面積	面積率	延べ面積	用途の区分
1	第一種住居地域	15,35ha	20.18%	47,100㎡	住居
2	第二種住居地域	3,67ha	4.91%	47,100㎡	住居
3	第一種商業地域	22,29ha	29.73%	47,100㎡	-
4	第二種商業地域	14,19ha	18.92%	47,100㎡	-
5	準工業地域	6,99ha	9.31%	47,100㎡	-
6	工業地域	12,01ha	16.00%	47,100㎡	-
10	公共用地	12,89ha	17.13%	47,100㎡	-
11	緑地	8,12ha	10.75%	47,100㎡	-
計		748.5ha			
緑地以外の指定区域		3,141.5ha	20.18%	47,100㎡	

色	名称	面積
赤	都市計画区域	7,485ha
黄	第一種住居地域	15,350㎡
緑	第二種住居地域	36,700㎡
青	第一種商業地域	222,900㎡
紫	第二種商業地域	141,900㎡
茶	準工業地域	69,900㎡
赤	工業地域	120,100㎡
青	公共用地	128,900㎡
黄	緑地	81,200㎡
赤	特別用途地区	1,100㎡
黄	特定用途制限地域	1,100㎡
赤	準防火地域	1,100㎡
黄	風致地区	1,100㎡

資料：市の都市計画図

〔3〕用途地域内の土地利用分類

土地利用分類は、2-15 頁に示す三角グラフの設定を踏まえ、平成 24 年国勢市計画基礎調査の土地利用データを基にゾーン別に分類します。

ゾーン別分類の結果、住居系土地利用において、住居の混在は見られるものの、住環境に影響が大きい住工混在は見られないことから、現状の用途地域は適正であるといえます。

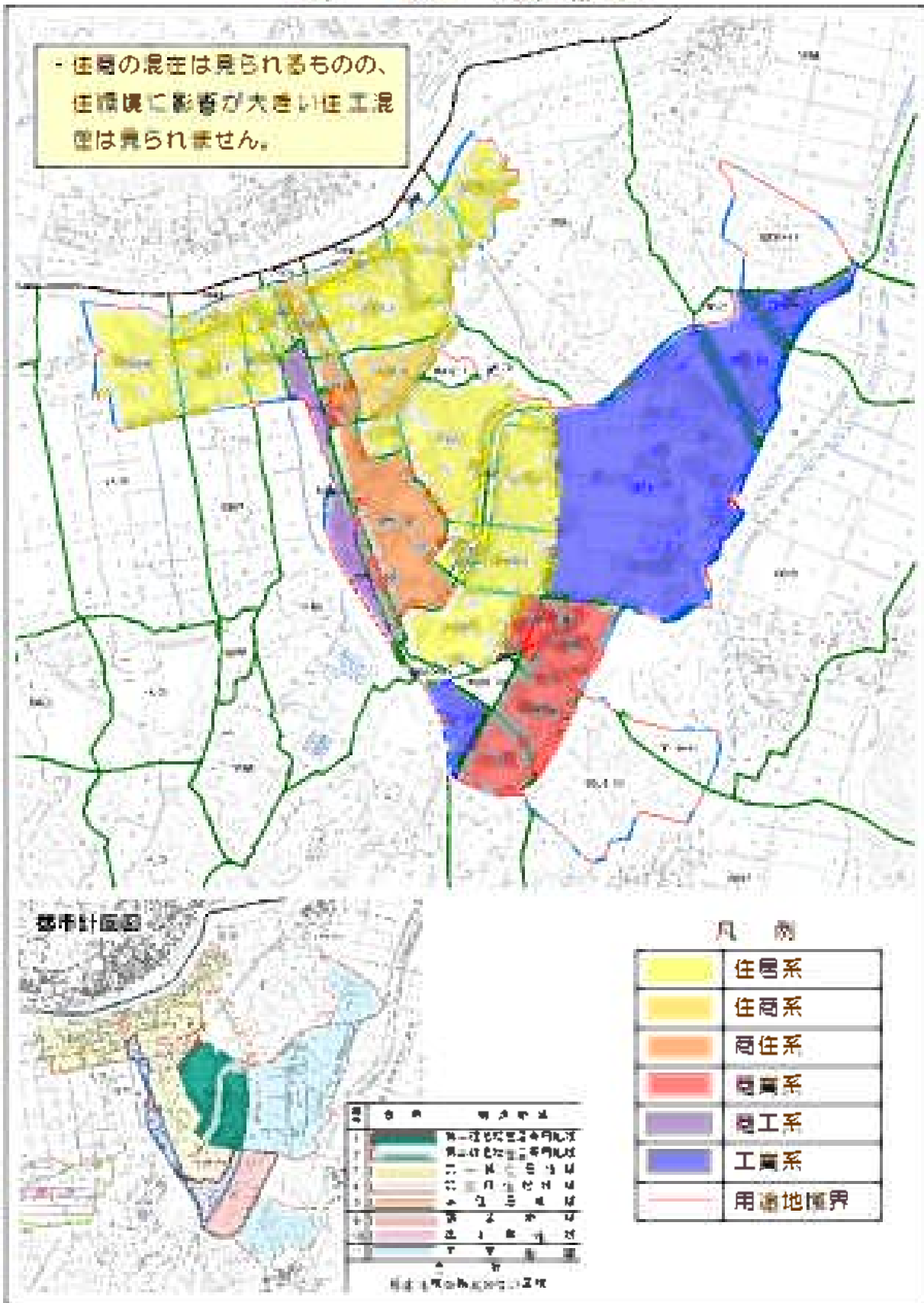
■用途地域内の土地利用分類

ゾーン番号	用途地域名	宅地面積 (ha)				土地利用 (%)			土地利用分類
		住居系	商業系	工業系	計	住居地%	商業地%	工業地%	
0072-1	第1種住居地域 専用地区	-	-	-	-	-	-	-	住居系
0078-1		0.50	-	-	0.50	100	-	-	
0079-1		2.84	0.03	-	2.87	99	1	-	
0082-1		2.08	-	-	2.08	100	-	-	
0083-1	1.45	0.05	-	1.50	97	3	-		
0076-2	第2種住居地域 専用地区	0.22	-	-	0.22	100	-	-	
0077-2		0.20	-	-	0.20	100	-	-	
0080-2		0.46	-	-	0.46	100	-	-	
0081-2		0.10	0.02	-	0.12	83	17	-	
0020-5	第1種住居地域	1.82	0.04	-	1.86	98	2	-	
0043-5		2.65	-	-	2.65	100	-	-	
0044-5		2.73	0.53	-	3.26	84	16	-	
0046-5		1.28	0.10	-	1.38	93	7	-	
0048-5		0.23	-	-	0.23	100	-	-	
0050-5		1.08	0.07	-	1.15	94	6	-	
0052-5		1.20	0.38	-	1.58	76	24	-	
0054-5		0.51	0.69	-	1.20	43	58	-	
0058-5		0.68	-	-	0.68	100	-	-	
0060-5		3.70	0.35	-	4.05	91	9	-	
0062-5		0.21	0.05	-	0.26	81	19	-	
0063-5	1.90	0.09	0.06	2.05	93	4	3		
0053-6	第2種住居地域	0.28	1.09	-	1.37	20	80	-	
0055-6		0.06	0.01	-	0.07	86	14	-	
0061-6		1.18	0.70	0.03	1.91	62	37	2	
0045-7	準住居地域	0.58	0.28	-	0.86	67	33	-	
住居系計		27.94	4.48	0.09	32.51	86	14	0	
0015-9	商業地域	-	3.29	0.43	3.72	-	88	12	
0031-9		0.21	2.83	0.06	3.10	7	91	2	
0036-9		0.08	3.61	0.34	4.03	2	90	8	
0066-9		0.10	1.08	-	1.18	8	92	-	
商業系計		0.39	10.81	0.83	12.03	3	90	7	
0015-10	準工業地域	-	-	-	-	-	-	-	
0031-10		-	-	0.19	0.19	-	-	100	
0036-10		-	-	-	-	-	-	-	
0049-10		1.06	1.27	0.85	3.18	33	40	27	
0056-10		-	0.28	-	0.28	-	100	-	
0057-10		0.10	0.40	0.08	0.58	17	69	14	
0065-10		-	-	-	-	-	-	-	
0066-10	-	0.24	-	0.24	-	100	-		
0005-11	工業地域	-	-	-	-	-	-	-	
0013-11		1.14	-	27.66	28.80	4	-	96	
0014-11		-	-	-	-	-	-	-	
0018-11		-	-	3.69	3.69	-	-	100	
0034-11		-	-	-	-	-	-	-	
0038-11	-	-	0.07	0.07	-	-	100		
工業系計		2.30	2.19	32.54	37.03	6	6	88	
用途地域計		30.63	17.48	33.46	81.57	38	21	41	

資料 | 平成 24 年国勢市計画基礎調査

■用途地域内の土地利用分類結果

・住居の混在は見られるものの、
住環境に影響が大きい住工混
在は見られません。



■三角グラフの土地利用分類別の土地利用率

分類名	内 訳		
	住宅地率	農地率	工業地率
住農系	60~100%	0~20%	0~20%
住農系	40~80%	20~50%	0~20%
住農系	20~50%	40~80%	0~20%
農農系	0~20%	60~100%	0~20%
農農系	0~20%	40~80%	20~50%
農農系	0~20%	20~50%	40~80%
工業系	0~20%	0~20%	60~100%
工業系	20~50%	0~20%	40~80%
農工業系	40~80%	0~20%	20~50%

※住宅地率=住宅地面積/宅地面積(住宅地、農卒地、工業地の合計面積)×100

※農地率=農地面積/宅地面積(住宅地、農卒地、工業地の合計面積)×100

※工業地率=工業地面積/宅地面積(住宅地、農卒地、工業地の合計面積)×100

注：宅地面積、農地面積、工業地面積は計測+算出面積計測基礎調査による。

■三角グラフによる土地利用分類



(4) 土地利用規制

① 地域森林計画対象民有林、保安林、自然公園区域

本町は地形特性から、緑豊かな森林に囲まれた生活圏が形成されており、森林の大半は地域森林計画対象民有林となっています。また、一部が保安林に指定されています。

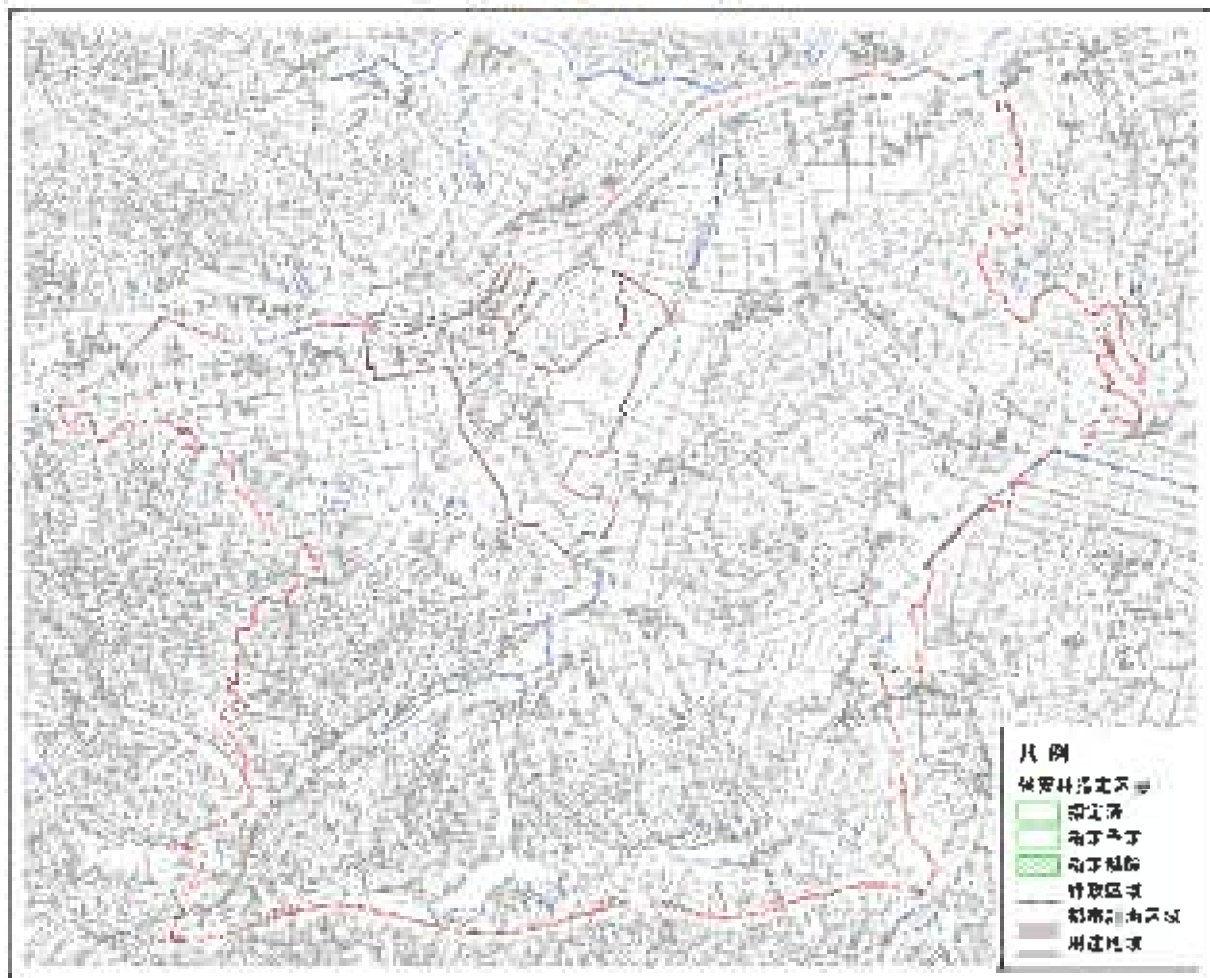
また、鶴和地域においては自然公園区域に指定されているエリアがあります。

■地域森林計画対象民有林

区分	面積 (ha)	備 考
地域森林計画対象民有林	5,973	
保安林	470	・都市計画区域内 0.96ha

資料：国土院森林

■保安林（都市計画区域内）



資料：国土院森林、国土院都市計画基礎調査、防災計画図

② 農用地区域

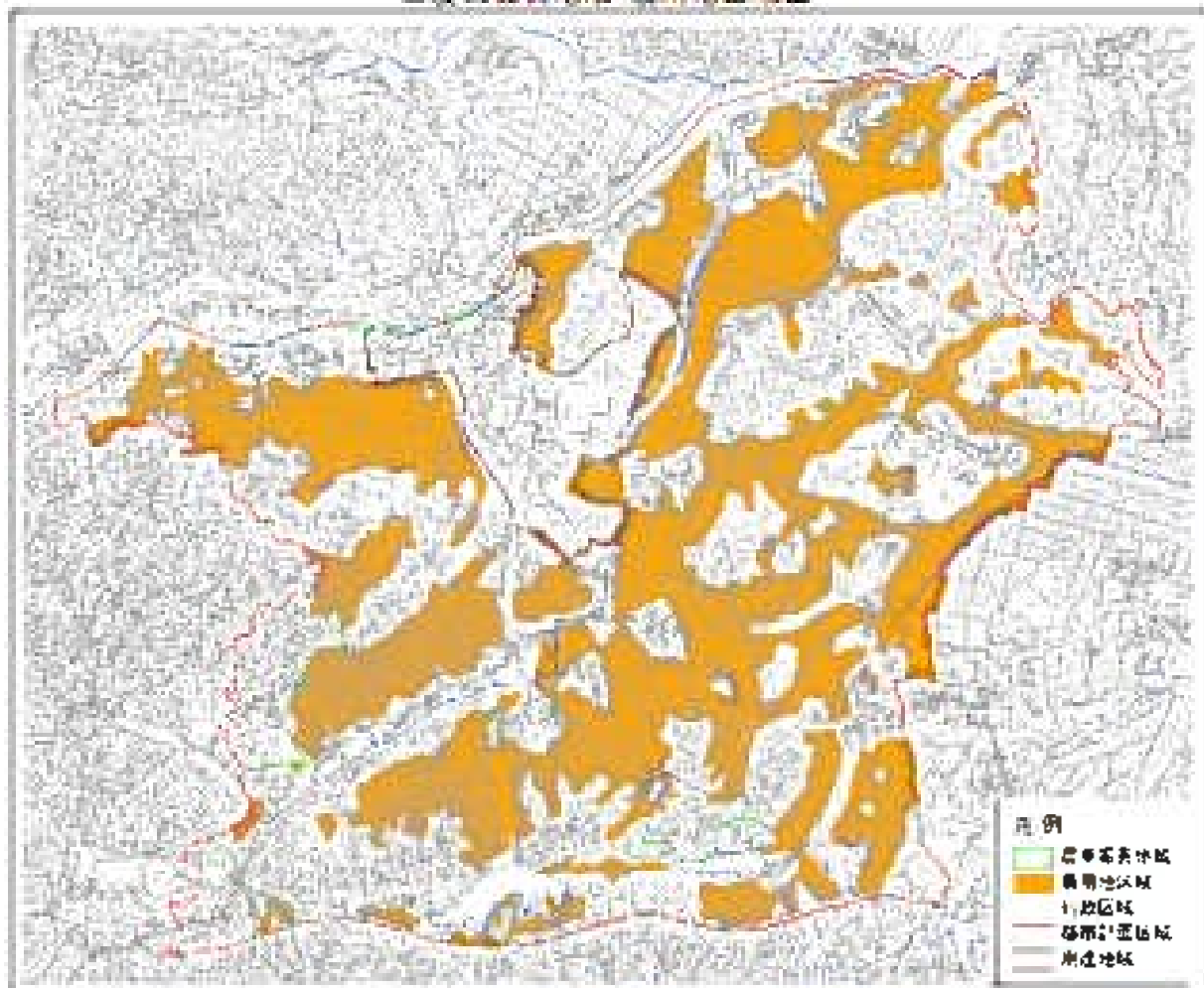
農用振興地域は、6,053.7haで行政区域名積（10,317.0ha）の58.7%を占めています。この内、農用地区域は1,982.8ha（19.2%）となっています。

■農用振興地域、農用地区域（町域全体）

区 分	面積 (ha)	割合 (%)	備 考
農用振興地域	6,053.7	58.7	
農用地区域	1,982.8	19.2	
行政区域	10,317.0	100.0	

資料：農林庁国土地院の農用地区の整理（平成27年）

■農用振興地域、農用地区域図



資料：平成22年度 農林庁国土地院の農用地区の整理（平成27年）

（5）開発動向

都市計画区域内の開発動向をみると、クリスタルタウンにおいて複合商業施設や工業団地が整備されています。

また、「のびのびパーク天宮」において、福祉会館、健康増進施設、多目的広場、公衆便所が整備されています。その他、多摩工業団地周辺において、自動車販売店・修理工場、農産物販売所・食堂等が整備されています。

■開発動向（平成22年3月31日現在）

番号	名称	面積 (㎡)	開発手続	事業主体	事業認可年月	竣工年月
1	複合商業施設	7.0	開発行為	民間	平成20年6月28日	平成20年7月1日
2	福祉会館、健康増進施設、多目的広場、公衆便所	3.9	■	多摩町	平成19年10月16日	継続中
3	自動車販売店兼車庫 自動車修理工場	0.4	■	民間	平成20年2月15日	平成20年3月14日
4	農産物販売所、食堂、ロインランドリー等	0.6	■	組合	平成21年3月30日	平成21年5月16日

資料：平成22年度都市計画基礎調査

■開発動向図



〔6〕農地転用の状況

平成17年から21年までの5年間の農地転用は、用途地域内4,47ha（97件）、用途地域外8,46ha（202件）、合計12,93ha（299件）となっており、農地面積約1,236ha（土地利用現況）の約1.05%となっています。

また、農地転用は、相可駅周辺地区や多気工業団地周辺地区のほか、農道の周辺で件数が多くなっています。（次頁図参照）

■農地転用の状況

区分	農地転用面積（ha）					合計
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
用途地域内	0.06ha (3)	3.53ha (81)	0.47ha (10)	0.37ha (13)	0.05ha (1)	4.47ha (97)
用途地域外	2.17ha (34)	2.66ha (61)	1.28ha (38)	1.23ha (41)	1.03ha (38)	8.46ha (202)
合計	2.22ha (37)	6.18ha (142)	1.74ha (57)	1.60ha (54)	1.08ha (39)	12.93ha (299)

資料：平成22年度都市計画基礎調査

〔7〕新築着工の状況

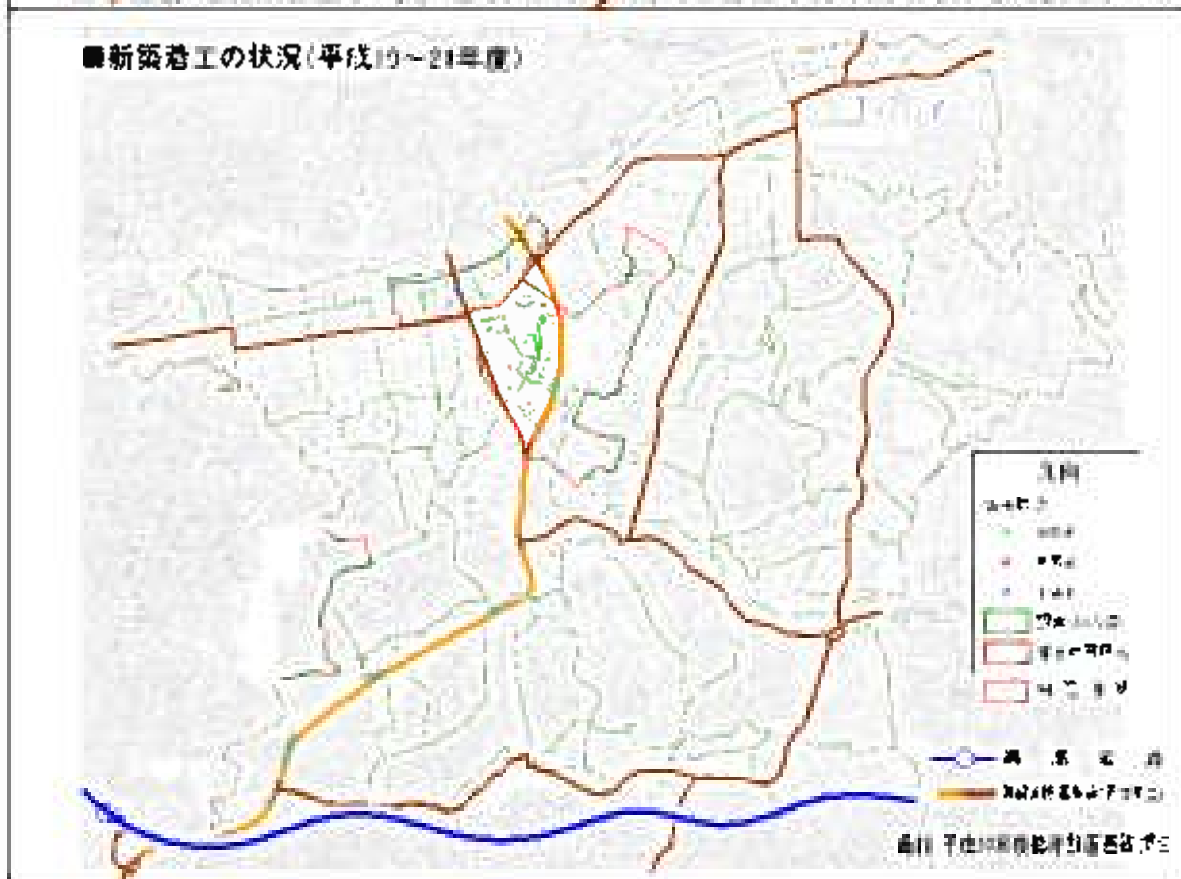
都市計画区域内の新築着工の状況を見ると、相可台団地での住宅の立地、クリスタルタウン団地の商業立地のほか、多気駅周辺、相可駅周辺での住宅・店舗等の立地が多くなっています。（次頁図参照）

■新築着工の状況

都市計画区域内

年次	住宅系	商業系	工業系	合計
平成17年	5	3	5	13
平成18年	24	10	8	42
平成19年	33	6	10	49
平成20年	31	11	10	52
平成21年	22	10	5	37
合計	115	40	38	193

資料：平成22年度都市計画基礎調査



2-4 交通

(1) 道路の現況

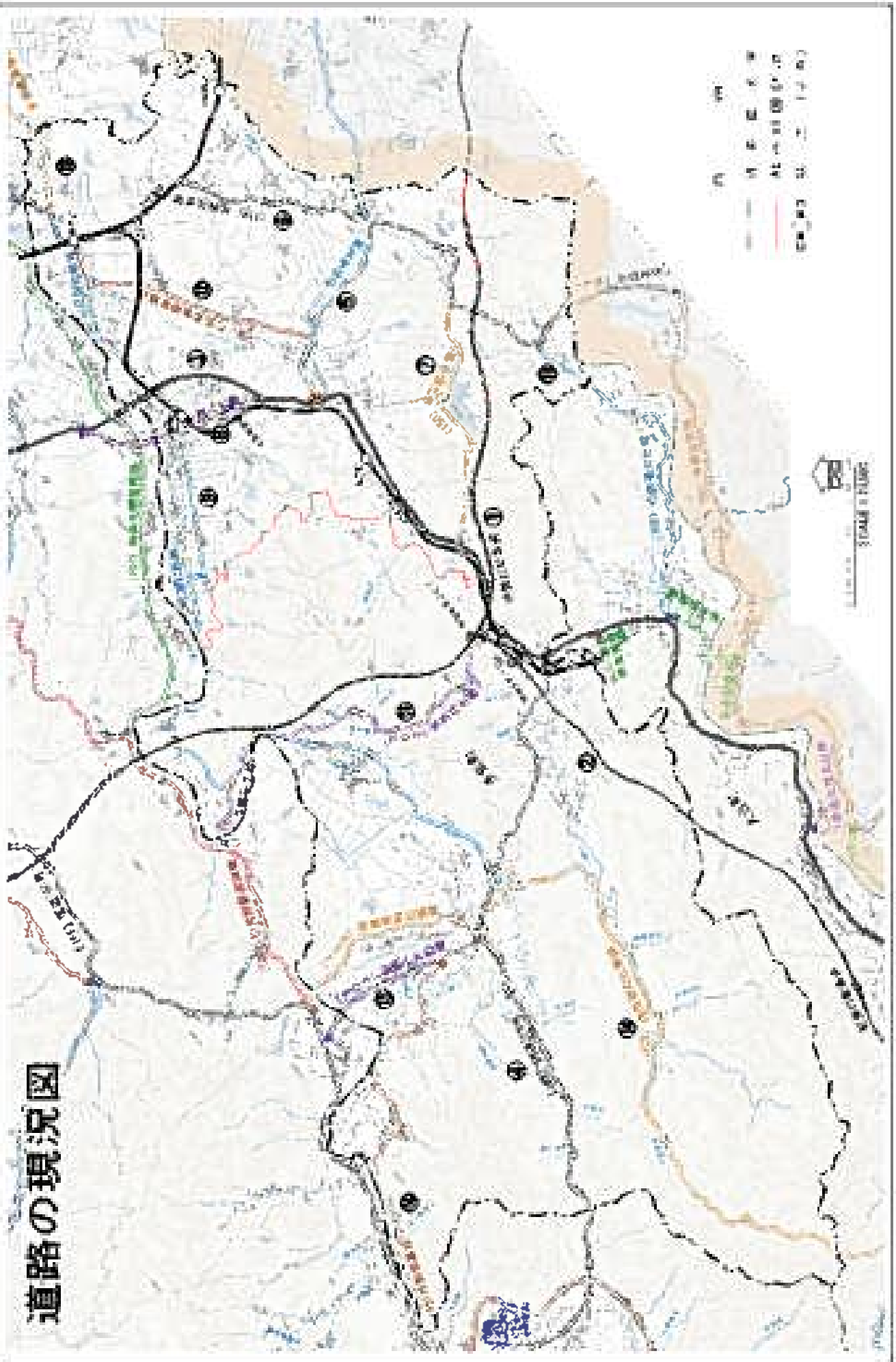
本町の道路網は、伊勢自動車道・紀勢自動車道とそれに接続する国道42号、国道358号を主幹に、主要地方道及び一般県道12路線が縦横に走り、これに町村道や農道が連絡しています。

■道路の現況

番号	種別	路線名	備 考
1	自動車専用道路	伊勢自動車道	- 多気地域、勢和地域
2		紀勢自動車道	- 勢和地域
3	国道	国道42号	- 多気地域、勢和地域
4		国道358号	- 勢和地域
5	主要地方道	伊勢多気線	- 多気地域
6	一般県道	松阪廣合線	- //
7	//	前村野中線	- //
8	//	多気八太線	- //
9	//	勢和兄置松阪線	- 多気地域、勢和地域
10	//	多気博軍徳島朝線	- 多気地域
11	//	茅原丹生線	- 多気地域、勢和地域
12	//	仁田多気博軍塊線	- 多気地域
13	//	相模瀬大呂線	- //
14	//	佐原勢和松阪線	- 勢和地域
15	//	百江小片野線	- 勢和地域
16	//	片野飯塚線	- 勢和地域

資料：建設部建設課所管内図（平成27年4月現在）

道路の現況図



(2) 道路事業計画（平成25年～平成28年度）

三重県では、地域の更なる発展や、県民生活の安全・安心な暮らしを確保するため、道路整備が必要な状況にあることから、三重県内の道路に関する方向性を定める「道路整備方針（平成23年6月）」を策定しています。

また、道路整備方針に基づき、各地域における今後の県管理道路の整備の方向を具体化するため、「道路事業計画」が策定されています。

この「道路事業計画」は、県民のニーズや社会情勢等的変化に反映するため、3年間の事業計画を策定し、隔年度、更新されます。

■道路事業計画

年度	種別	路線名称	事業区間	事業延長(km)	整備手続	完成予定
平成25年度	総括整備所	道路368号	多気町朝柄	1.1	基本	
		勢和元五輪防線	多気町足田～多気町指可	2.0	〃	
平成26年度	総括整備所	道路368号	多気町朝柄	1.1	〃	
		勢和元五輪防線	多気町足田～多気町指可	2.0	〃	
	実施検討	勢和元五輪防線	多気町伊形～多気町佐伯中	1.2	〃	
平成27年度	総括整備所	勢和元五輪防線	多気町足田～多気町指可	2.0	〃	
		勢和元五輪防線	多気町伊形～多気町佐伯中	1.1	〃	
	新規着手	勢和元五輪防線	多気町校～多気町伊形	1.4	〃	
平成28年度	総括整備所	勢和元五輪防線	多気町足田～多気町指可	2.0	〃	
		勢和元五輪防線	多気町伊形～多気町佐伯中	1.1	〃	
		勢和元五輪防線	多気町校～多気町伊形	1.4	〃	
	実施検討	白飯蓮合線	多気町土羽～多気町野由	2.5	〃	

資料：三重県HP（道路課のページ）

(3) 道路の整備計画

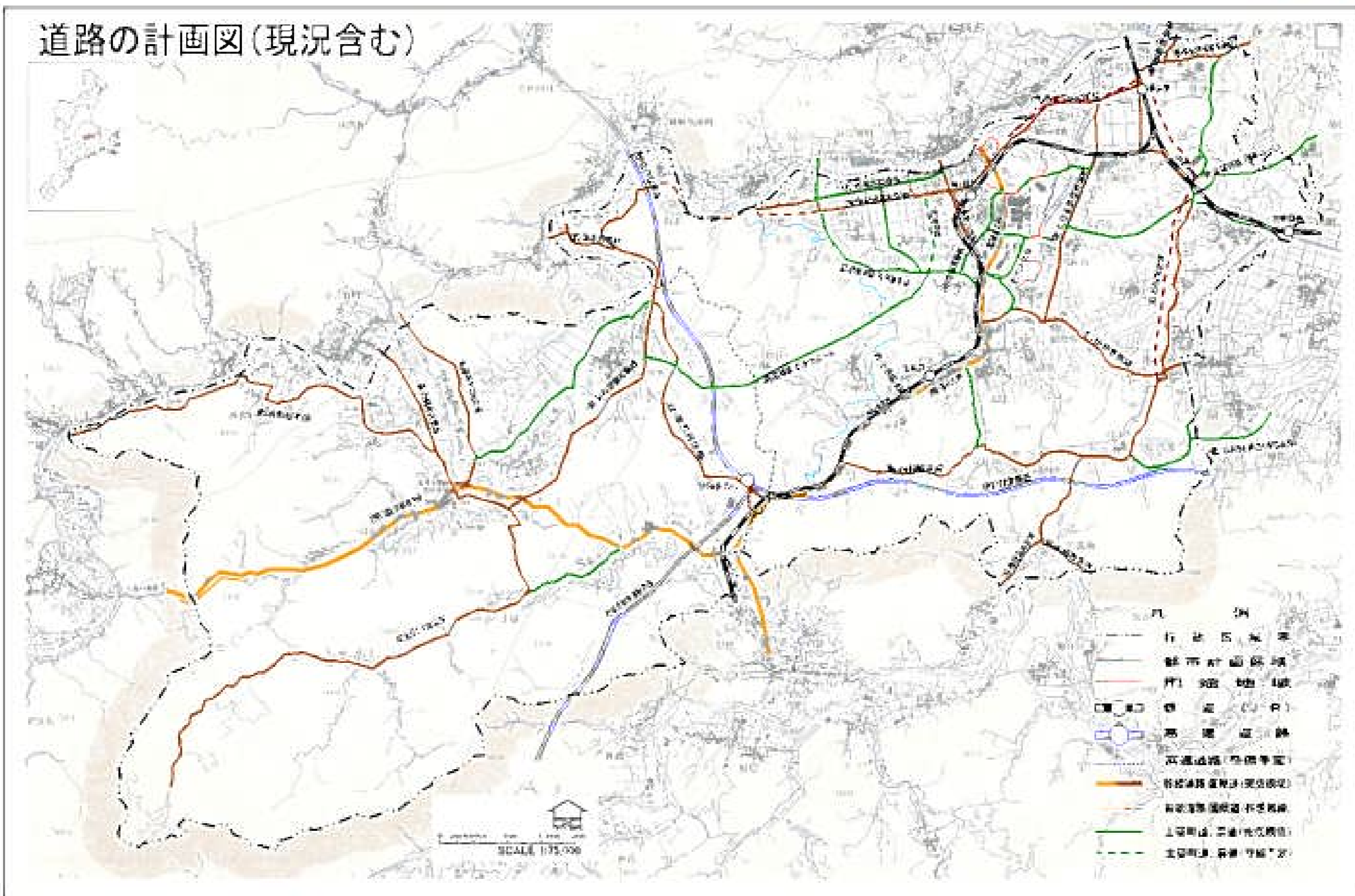
国道2路線（近畿自動車道紀勢線、国道308号）、県道4路線のほか、町道・市道の整備計画が示されており、順次整備が進んでいます。

■道路整備計画

路線名称		路線の機能	整備状況
国道	国道308号	・上野市と磐城地域を連絡する路線	整備済
市道	磐城圏会線	・磐城市と廣合町を連絡する路線	完成済
	磐城兄富磐城線	・磐城地域から兄富を経由し磐城市を連絡する路線	整備中
	庄原磐城磐城線	・大田町庄原と磐城市を連絡する路線	完成済
町道	谷田天竺線	・町役場このひのひパーク天竺方面を連絡する路線	整備済
	平野富者線	・平野町富者と富野42号を連絡する路線	調整中
	クリスタル線	・クリスタルタウン内路線	整備済
	雄夫相模線	・雄夫一五雄也とあるさと村を結ぶ路線	調整中
県道	相可線	・磐城町 磐城ルートと市道磐城兄富磐城線を連絡する路線	整備中
	磐城町道（磐城ルート）	・磐城地域と多志町中郷を連絡する路線	整備済
	磐城町道（明和ルート）	・明和町と市道磐城圏会線を連絡する路線	整備済
	あるさと豊春（豊春良線）	・里城町と市道磐城圏会線を連絡する路線	整備済
	豊春道路（磐城多志線）	・磐城市と多志町中郷を連絡する路線	整備済

多志町自治体

道路の計画図(現況含む)



(4) 公共交通

① 公共交通運行本数

JR 紀勢本線の多気駅から岫山方面の運行本数は、1～4本/時（43本/日）となっていますが、相可駅からは0～1本/時（9本/日）と少ない状況です。

町営バスは幹線が0～1本/時（6本/日）、43本/日が0～1本/時（1～2本/日）となっています。

■公共交通運行本数（平日）

名称		区 間	本数/時	本数/日
J R	紀勢本線	多気駅（上り）岫山方面	1～4本/時	43本/日
		多気駅（下り）新宮方面	1～2本/時	18本/日
		相可駅（上り）岫山方面	0～1本/時	9本/日
		相可駅（下り）新宮方面	0～2本/時	11本/日
	伊勢線	多気駅（上り）伊勢方面	1～3本/時	34本/日
		多気駅（下り）伊勢方面	1～3本/時	35本/日
町 営 バ ス	三重交通	相可上神社前～おきん茶屋	0～1本/時	4本/日
		おきん茶屋～相可上神社前	0～1本/時	4本/日
	南紀特急	多気町役場（上り）	0～1本/時	4本/日
		多気町役場（下り）	0～1本/時	4本/日
町 営 バ ス	幹線	多気駅～元丈の館	0～1本/時	6本/日
		元丈の館～多気駅	0～1本/時	6本/日
	西相可線	西相可～多気駅	0～1本/時	1本/日
		多気駅～西相可	0～1本/時	2本/日

② 鉄道

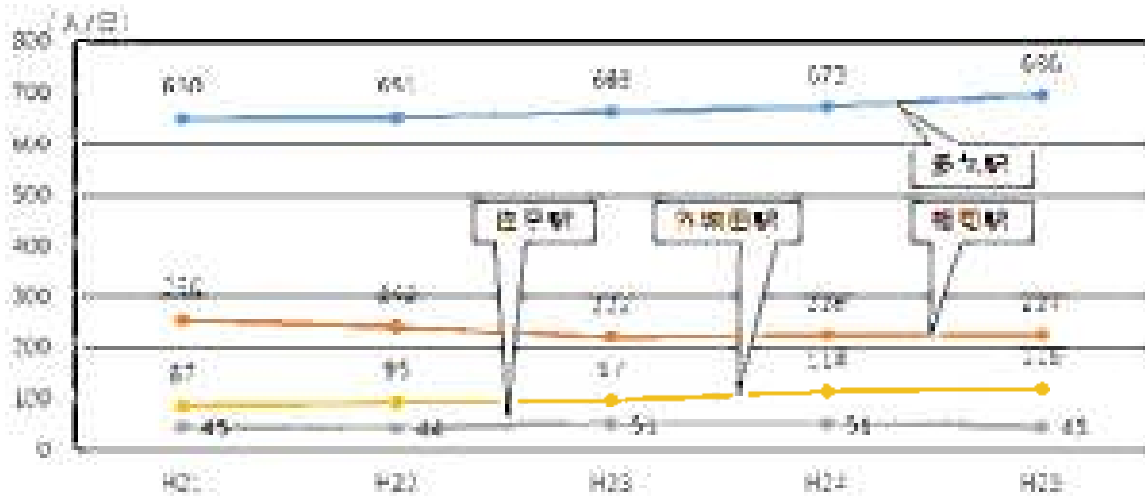
本町には、JR東海の紀勢本線の多気駅、相可駅、佐系駅と、伊勢線の外城田駅を合わせ4駅が開業されています。

鉄道の乗客数は多気駅、佐系駅で増加傾向にあり、相可駅、外城田駅は横ばい傾向となっています。

■各駅の乗車人員（1日平均）

駅 名		H21	H22	H23	H24	H25	備 考
紀勢本線	多気駅	650	651	663	673	696	
	相可駅	256	242	222	226	227	無人駅
	佐系駅	45	44	51	51	45	〃
伊勢線	外城田駅	87	95	97	114	119	〃

資料 三重県統計書



④ バスなど

民間の路線バスとしては、三國交通の路線バス・兩総特急バスがあります。また、町営としては多気町町営バス、エリアタクシー（てん多）があります。

エリアタクシー（てん多）は、平成 25 年 10 月にそれまでの予約運行小型バス（路線不定期運行）から、エリア内の農産産園における農合運行（農予約）に変更し、利用が増加しています。

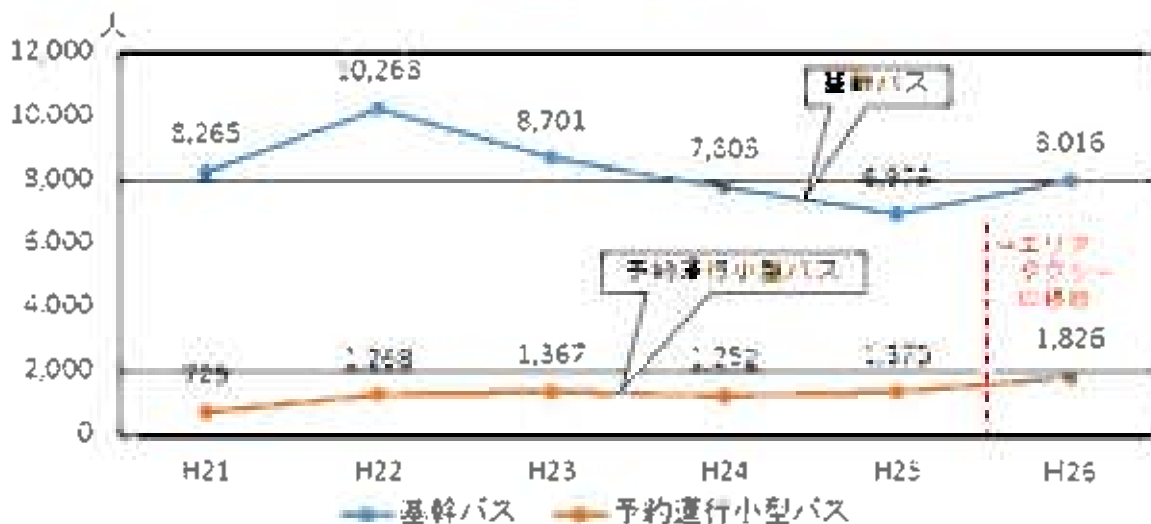
これらバスなどの公共交通は、自家用車を利用できない高齢者や通勤・通学などで利用されており、町民の大切な交通手段となっています。

■ 町営バスなどの乗車人数

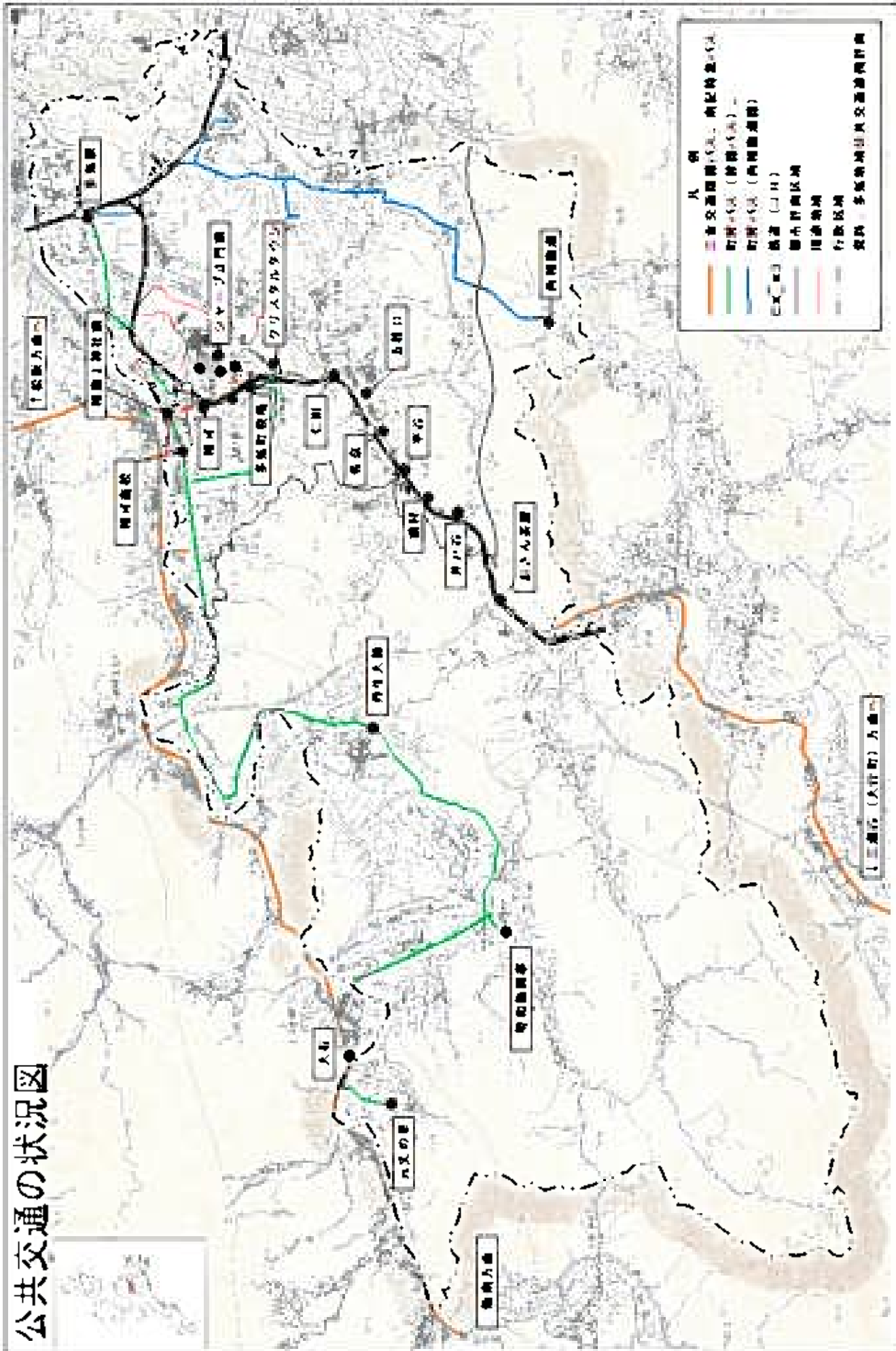
年 限	H21	H22	H23	H24	H25	H26
基幹バス	8,265	10,268	8,701	7,803	6,976	8,016
予約運行小型バス、 エリアタクシー	729	1,268	1,367	1,252	1,375	1,826

注：エリアタクシー（てん多）は平成 25 年 10 月以降に運行

町資料より



公共交通の状況図



白でん多乗降場所 MAP エアータクシー

料金：300円（一回） 未就学児：無料

ご利用時間：8時～18時 定 員：4人まで（幼児は無料）
ご予約：0120-933-111（24時間受付）（12月30日～1月1日のみ受付停止）



2-5 主要施設

(1) 公園・緑地

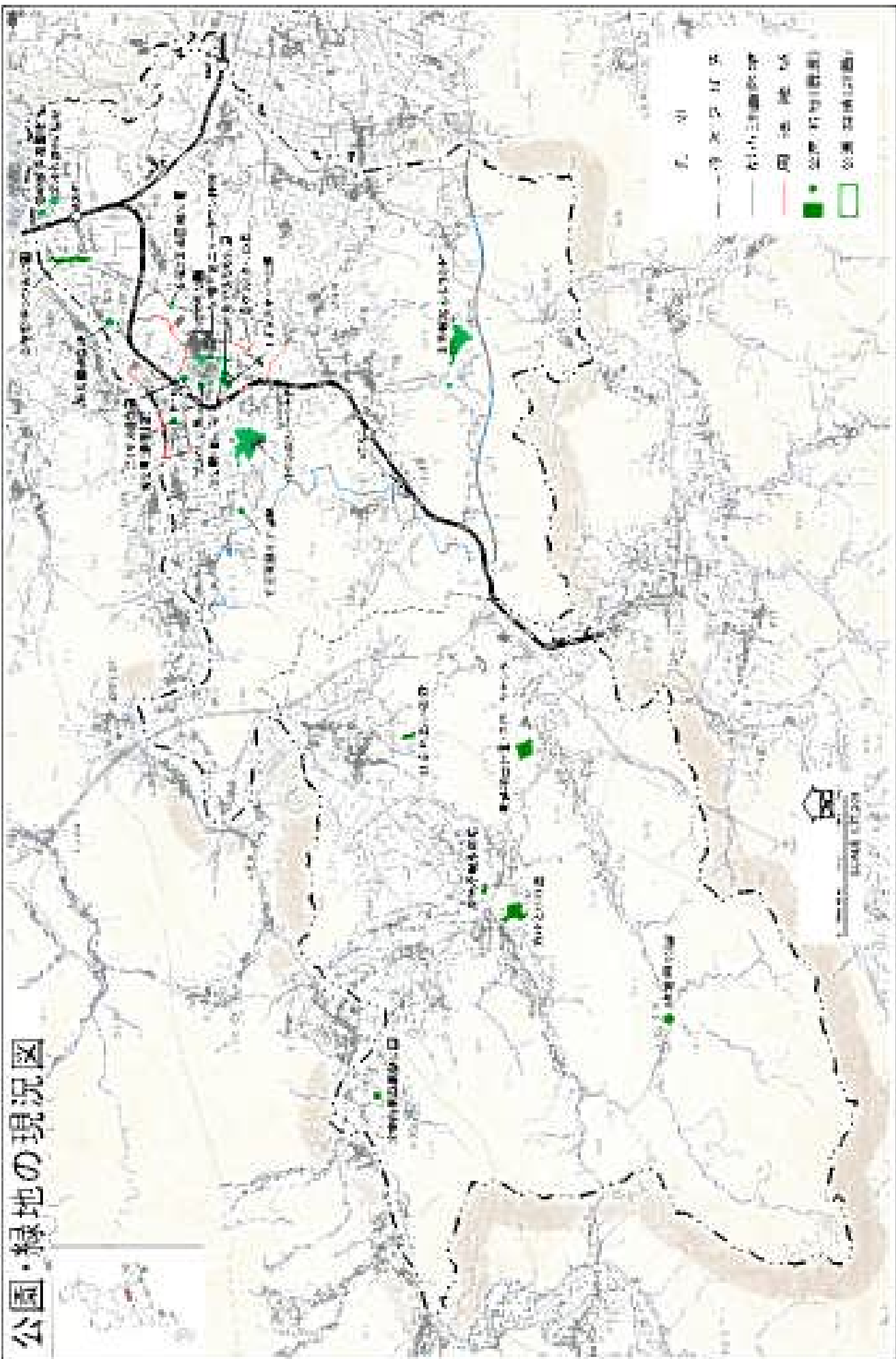
本町には、都市公園は整備されていませんが、都市公園以外で公園緑地の機能を備える施設としては、23箇所の公園・緑地があり、平成26年4月1日現在の行政区域内の一人当たりの公園面積は34.23㎡/人（984㎡/人（三重県都市計画区域、平成26年3月））となっています。

■公園・緑地の現況

区 域		名 称	面積 (ha)		備 考 (施設等)
			用途別	用途別	
多 子 園 地	南例 公園	①のびのびパークテラス	—	14.10	南例エリアの広大な計画あり
		②庄原ばつみ公園	—	2.17	グートホール、バタールゴルフ
		小 計		16.27	
	その 他 の 公 園 緑 地	③五福池ふるさと村	—	6.11	運動のふれあいの広場
		④多生スポーツ公園	2.40	—	
		⑤クワスタルの森	—	0.59	
		⑥真久工業団地公園	0.24	—	
		⑦くすのき公園	0.13	—	
		⑧けやき公園	0.17	—	
		⑨さくし公園	0.12	—	
		⑩やまもも公園	0.30	—	
		⑪公園（認可区）	0.14	—	
		⑫中朝長遊園地	—	0.05	
		⑬北条富小遊園地	—	0.03	
		⑭元丸遊園地	—	0.05	
		⑮三足田小遊園地	—	0.04	
		⑯公園（認可1区）	0.10	—	
⑰認可区ニュータウン緑地		1.40	—		
	小 計	5.00	6.87		
	計	5.00	23.14		
登 和 園 地	その 他 の 公 園 緑 地	①登和南公園-スポーツセンター	—	2.74	児童公園、遊具、野球場、テニス広
		②ゆりの丘	—	11.00	遊歩のり原、ふるさと交差点、児童広 場、多目的広場、登山城跡遊歩道
		③山中又草又樹公園	—	0.52	又草又樹園
		④ふれあいの森	—	0.50	多目的広場、アスレチック
		⑤丸瀬橋水広場	—	3.46	河川敷
		⑥油田公園	—	6.14	
	小 計	—	24.36		
	計	—	24.36		
合 計			5.00	47.50	
一人当たり公園面積			34.23	984	○平成26年4月1日現在 ・行政区域人口15,337人 (㎡/人)

資料：多子園地の基本計画（平成20年4月現在）、町資料

公園・緑地の現況図



(2) 河川

多気地域には、国轄河川として榑田川、佐奈川、泉管沼河川の榑川、長谷川、宮川の5つの一級河川がありますが、未改修区間が多く残っています。

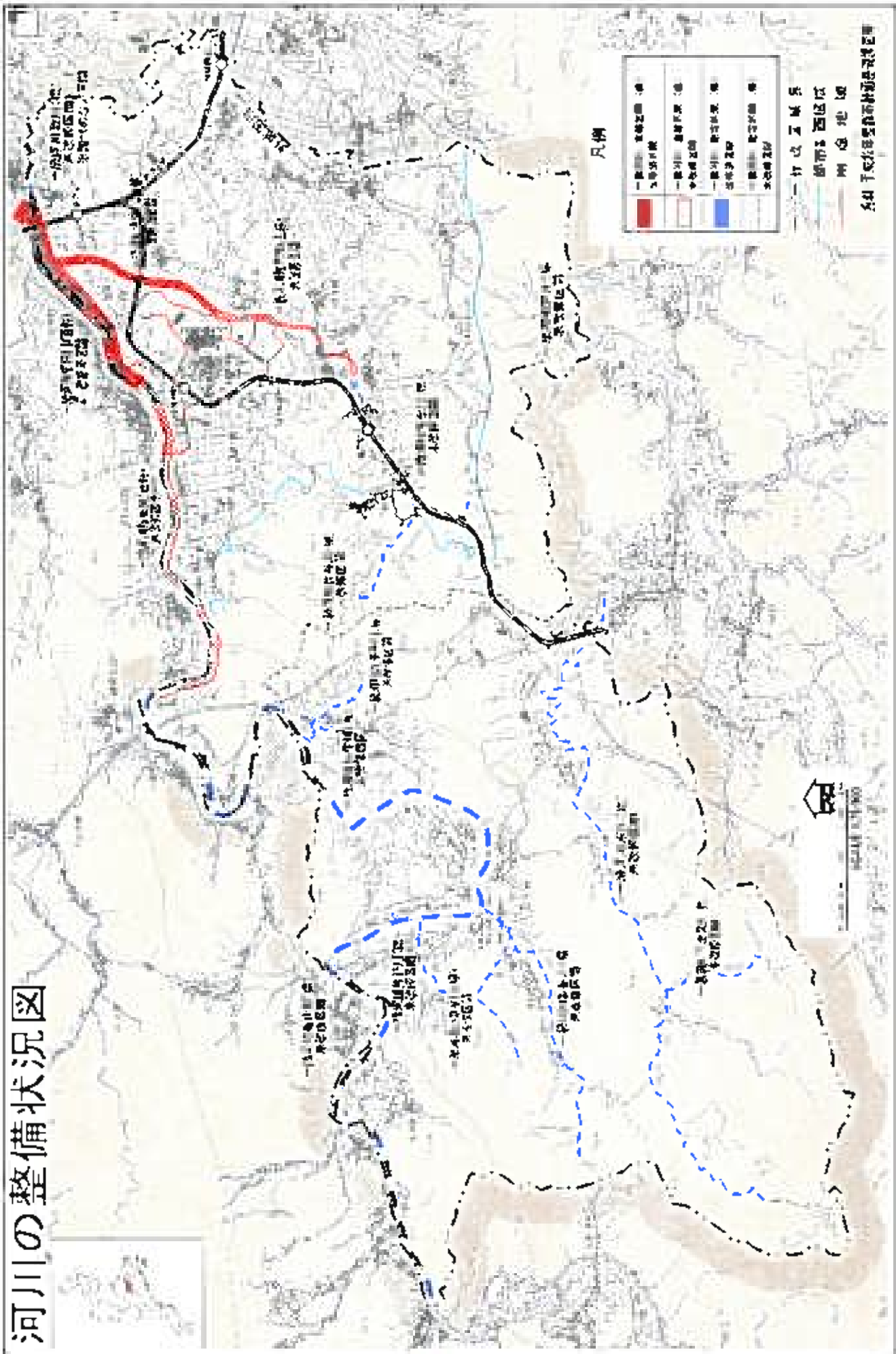
このほかに町認定の普通河川、準用河川は19本あります。

勢和地域には、榑田川、八王子川、丹生川、朝柄川、小朝柄川、片野川、瀧川、下津又川の8の一級河川がありますが、未改修区間が多く残っています。

■河川の状況

地域	種別	河川名
多気地域	一級河川	榑田川、佐奈川、榑川、長谷川、宮川
	普通河川・準用河川	19河川
勢和地域	一級河川	榑田川、八王子川、丹生川、朝柄川、小朝柄川、片野川、瀧川、下津又川
	普通河川・準用河川	

河川の整備状況図



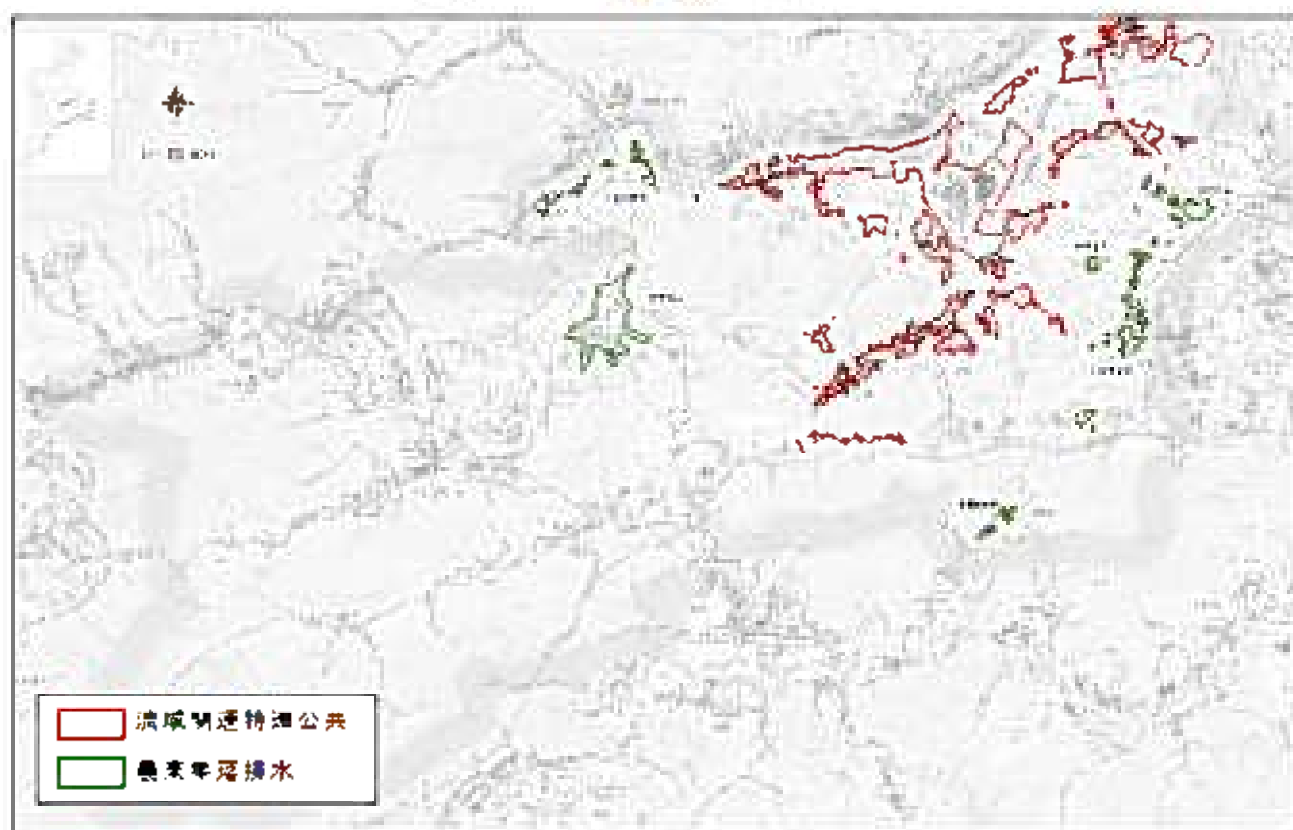
〔3〕生活排水処理施設

多気町の生活排水処理施設は、公共下水道、農業集落排水、浄化槽の整備が進められています。

平成28年度末現在、公共下水道、農業集落排水は整備率100%となっており、今後は単純率100%を目指すものとしています。

公共下水道事業及び農業集落排水事業区域外の区域については、合併処理浄化槽の設置による整備が進められています。

■生活排水処理施設の整備状況



出典：平成27年度公共下水道アクションプログラム

(4) 公共公益施設

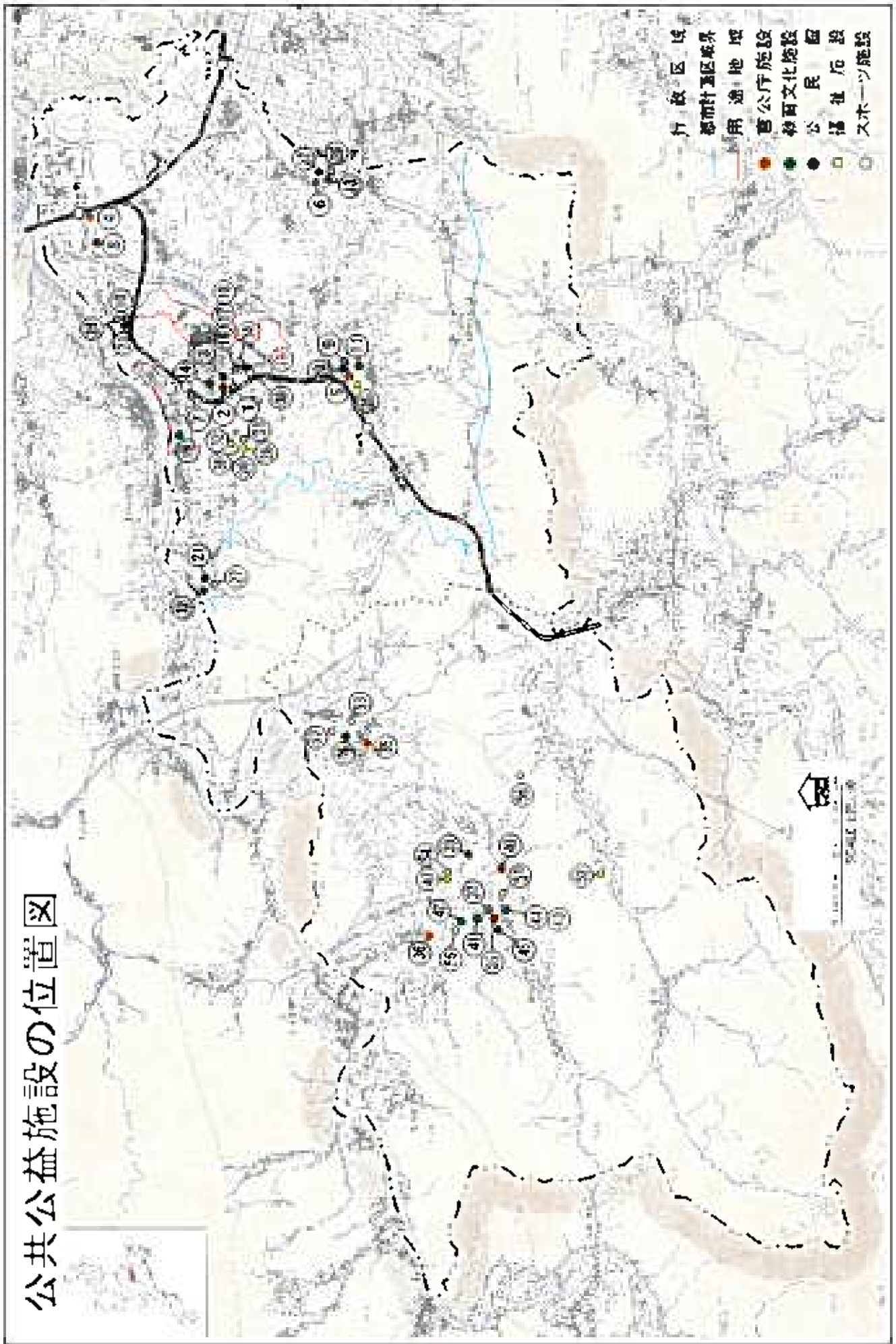
多勢地域と勢和地域の公共公益施設は、官公庁施設、教育・文化施設、公民館、福祉施設等が各地域の中心地区等に配置されています。

■公共公益施設

種 別		名 称			
多勢地域	官公庁施設	施設・支所	1 多勢町役所		
		消防署	2 松阪地区広域消防多々分署		
		警察署 駐在所	3 相可警察署駐在所 4 多々警察署駐在所	5 佐子警察署駐在所 6 西外城田警察署駐在所	
		郵便局	7 多々郵便局 8 多々駅前郵便局	9 佐子郵便局	
	教育・文化施設	小学校	10 相可小学校 11 佐子小学校	12 津田小学校 13 西外城田小学校	
		中学校	14 多々中学校（組合立）		
		高等学校	15 相可高等学校（単立）		
		その他	16 多々町民文化会館	17 多々組合立図書館 18 ふるさと交流館ささ、国土地理院	
	公民館		19 中央公民館 20 佐子公民館 21 津田公民館	22 西外城田公民館 23 相可公民館	
		福祉施設	保育園	24 相可保育園 25 佐子保育園	26 西外城田保育園 27 津田保育園
			その他	28 地域福祉センター「天智の里」 29 多々地域包括支援センター 30 子育て支援センター「のびのび」	31 小規模作業所「くすのこ作業所」 32 たき火会館
		スポーツ施設	33 多々町民センター 34 多々スポーツセンター	※各小中学校併用館	
	勢和地域	官公庁施設	施設・支所	35 勢和郷事務所	
			消防署	36 松阪地区広域消防勢和分署	
			警察署 駐在所	37 朝柄警察署駐在所	
			郵便局	38 丹生郵便局 39 出江橋口郵便局	40 田ノ谷郵便局
教育・文化施設		小学校	41 勢和小学校		
		中学校	42 勢和中学校		
		その他	43 ふるさと交流館せいわ 44 勢和図書館		
		公民館	45 勢和公民館	46 勢和中央公民館	
福祉施設		保育園	47 勢和保育園		
		その他	51 ささゆり苑 52 勢和保健センター 53 勢和老人福祉センター	54 子育て支援センター「あひま里」	
		スポーツ施設	55 勢和町スポーツセンター 56 勢和体育館 57 勢和平体育館	※各小中学校併用館	

資料：多々町資料

公共公益施設の位置図



〔5〕学校

多気町には小学校が5校、中学校が2校あります。児童・生徒数の推移は、横ばいもしくは微増傾向です。

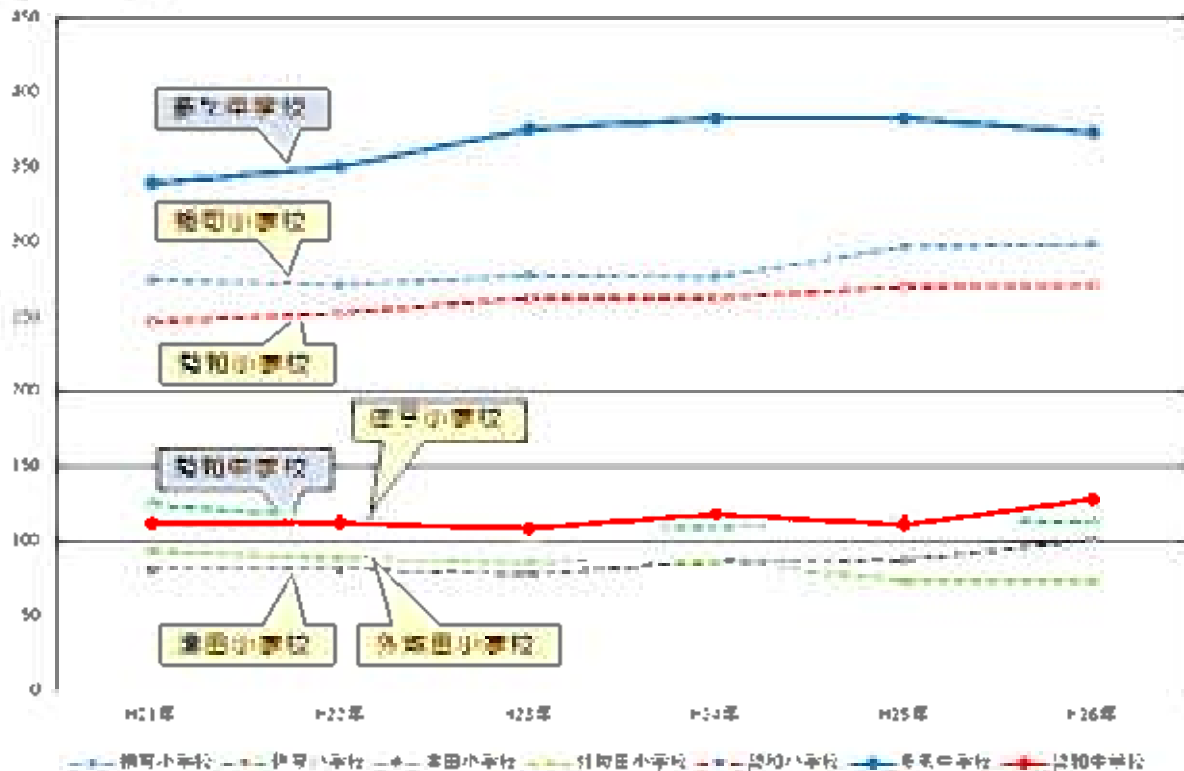
■児童・生徒数の推移

名 称		H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
小 学 校	相可小学校	275(13)	272(14)	278(14)	277(14)	297(14)	299(14)
	佐系小学校	125(7)	115(7)	109(7)	109(8)	115(8)	113(8)
	豊田小学校	81(7)	81(7)	78(7)	85(7)	87(7)	101(7)
	外城田小学校	94(7)	89(7)	86(7)	85(7)	74(7)	74(7)
	鶴和小学校	247(12)	253(12)	253(15)	253(15)	271(15)	272(14)
	計	822(45)	810(47)	814(50)	821(51)	844(51)	859(50)
中 学 校	多気中学校	340(13)	351(14)	376(15)	383(15)	383(15)	374(14)
	鶴和中学校	111(4)	111(5)	108(5)	117(5)	110(5)	127(7)
	計	451(17)	462(19)	484(20)	500(20)	494(20)	501(21)

■ 数字は児童・生徒数、()内は学級数

資料 多気町資料

児童・生徒数(人)



資料 多気町資料

〔6〕 ゴミ処理

多気地域と勢和地域は、ゴミの処理方式（施設、収集体制）が異なっています。

① 多気地域

多気地域のゴミ処理は、指定袋に分別してゴミステーションへ出し、これを収集委託業者が回収して「多気町美化センター」へ運びます。

平成9年頃に建設された現在の焼却施設は、1日15トンのゴミを消却する能力があり、年間では3,300トン（平成18年、総合計画記述）のゴミを焼却しています。

② 勢和地域

勢和地域は、「香川県伊勢沼田広域連合（構成市町：多喜町・大吉町・大紀町）」がゴミをRDF*化し、三重県企業庁の三重ゴミ固形燃料発電所（RDF発電所）に供給しています。

※ RDF化：家庭や事業所から出される生ゴミなどの可燃性ゴミを破碎・乾燥して不燃物を取り除き、消石灰などの添削物を調えてクレーン状に押し固めること。

■ ゴミ処理施設の位置図



⑦ 生活サービス施設

① 医療施設

多摩市の医療施設は、用途地域に該当して立地するほか、多摩駅周辺、認知地域中心部に立地しています。

■医療施設

施設名称	病床数	所在地	備 考
1 東豊病院	9	相模1044番地	一般診療所
2 昭和ファミリークリニック	4	古江1512-1	
3 桜井病院	-	相模153番地の1	
4 神田整形外科	-	相模1657-1	
5 みくら歯科	-	相模1513番地	
6 濱田医院	-	西台11297番1	

② 福祉施設

多摩市の福祉施設（公共公益施設を除く）は、用途地域内外に立地しています。

■福祉施設（公共公益施設を除く）

施設名称	施設種類	所在地
7 介護老人保健施設 みずほの里	通所リハビリテーション 居宅介護支援 介護老人保健施設	比田706番7号
8 なごみの里 ライフセンター 居宅介護支援事業所	通所リハビリテーション 介護老人保健施設 居宅介護支援	古江大字黒山1512-1
9. デイサービスセンター 里のはな	通所介護	土羽字西野659-10
10. 木の花苑	通所介護	色太947
11 「里」桜木認知症 グループホーム桜木さん	認知症対応型 共同生活介護	大字仁田黒山670-20
12 特別介護老人ホーム 多と彩華	介護老人福祉施設 複合入所生活介護	五辻字八瀬台432-43
13 デイサービスセンター 里のこかげ	通所介護	津田1758-2
14 たんぽぽケアプラン センター	居宅介護支援	井内井251-4
15. 里々デイサービス センター	通所介護	高陸184番地1
16. 居宅介護支援事業所 あしす おまの園デイサービス あしす	居宅介護支援 通所介護	早谷41-8
17. つくしデイサービス	通所介護	下出江190 つくしデイサービス
18 小規模多機能型居宅介護 施設 × 認知症	小規模多機能型居宅介護	芝木1345
19. 複合型特別介護老人 ホーム ときだの里	介護老人福祉施設 （複合型）	芝木字北ノ山1329番

資料：地理情報情報システム

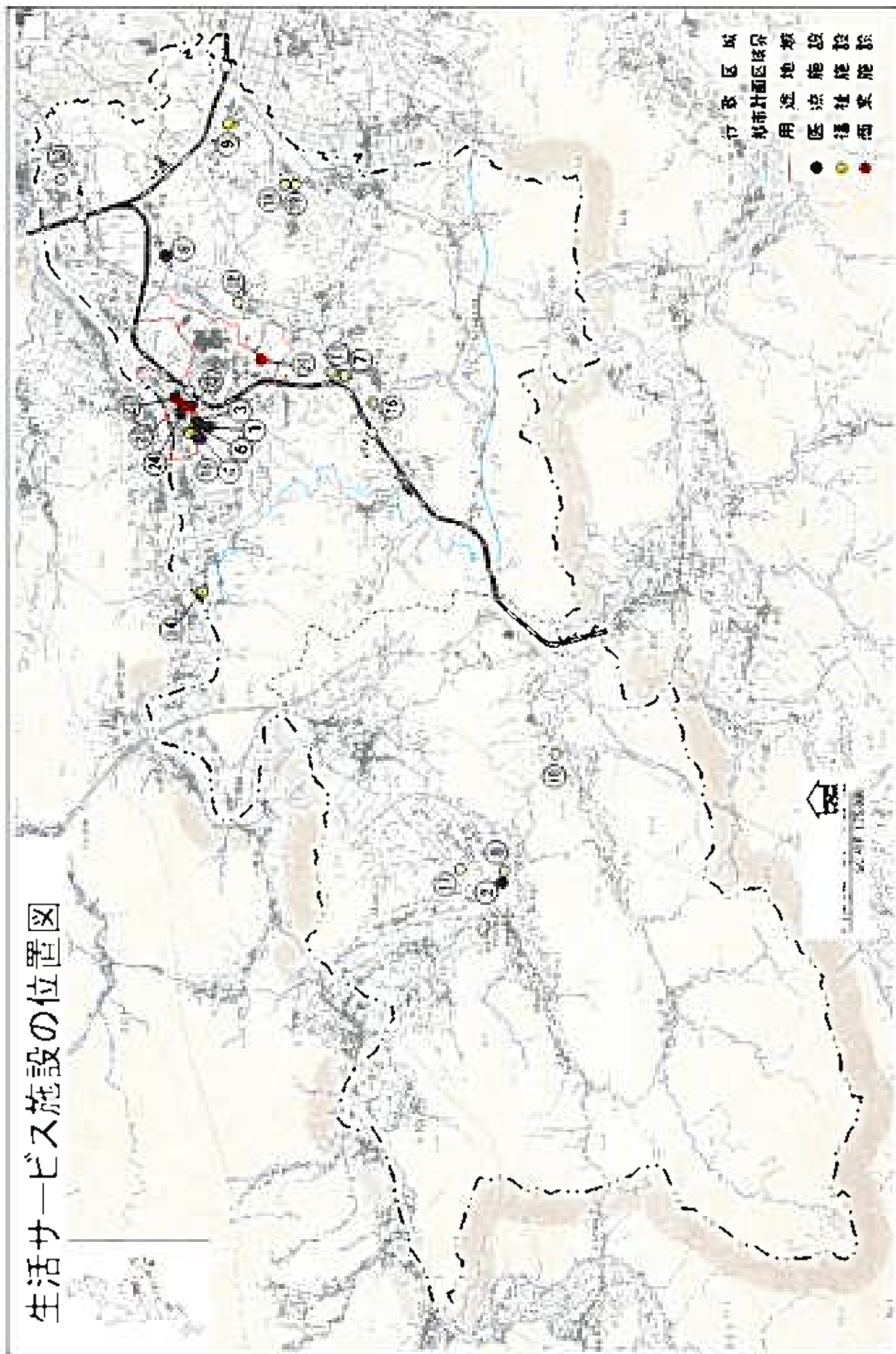
③ 商業施設

多気町の主要な商業施設は、用途地域内に立地しています。

■商業施設

名 称	所在地
20 多気クリスタルタウンショッピングセンター	広田750
21 グンテョ 食料館多気店	相野 1060
22 ショップドラッグ	相野 1068-1
23 コメリ	相野 1049-1
24 ママ友電機	相野 1058-1

生活サービス施設の位置図



2-6 産業

(1) 工業

多気町の工業製造品出荷額等は、平成7年度時約281億円であったものが、平成17年には4,734億円と驚異的な伸び率を示しました。

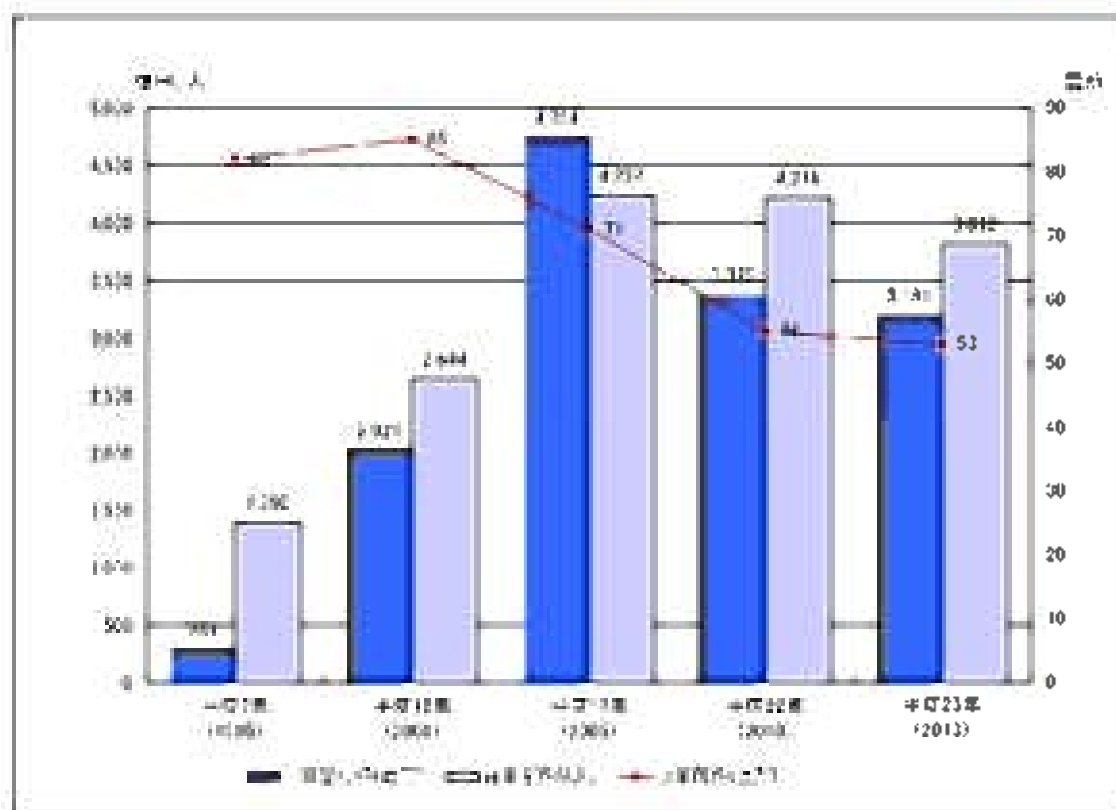
しかしながら、平成20年9月の世界金融危機後、工業製造品出荷額等、事業所数、従業員数ともに減少に転じています。

■多気町の工業の推移

目 的	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成25年 (2013)
事業所数(箇所)	62	65	71	55	53
従業員数(人)	1,360	2,644	4,232	4,216	3,612
工業出荷額等(億円)	281	2,021	4,734	3,372	3,161

注：従業員4人以上の製造事業所

資料：三番町市町村関係統計表、工業統計調査(平成25年度)



注：従業員4人以上の事業所

（2）商業

多気町は、大企業の立地に伴いショッピングセンターやコンビニエンスストアなどが進出し、町外からの買物客も増加しています。

多気工業団地周辺には環境に配慮した商業を中心とする「クリスタルタウン」が整備されています。また、近年、相可地区に家電量販店、ホームセンターなどが立地しています。



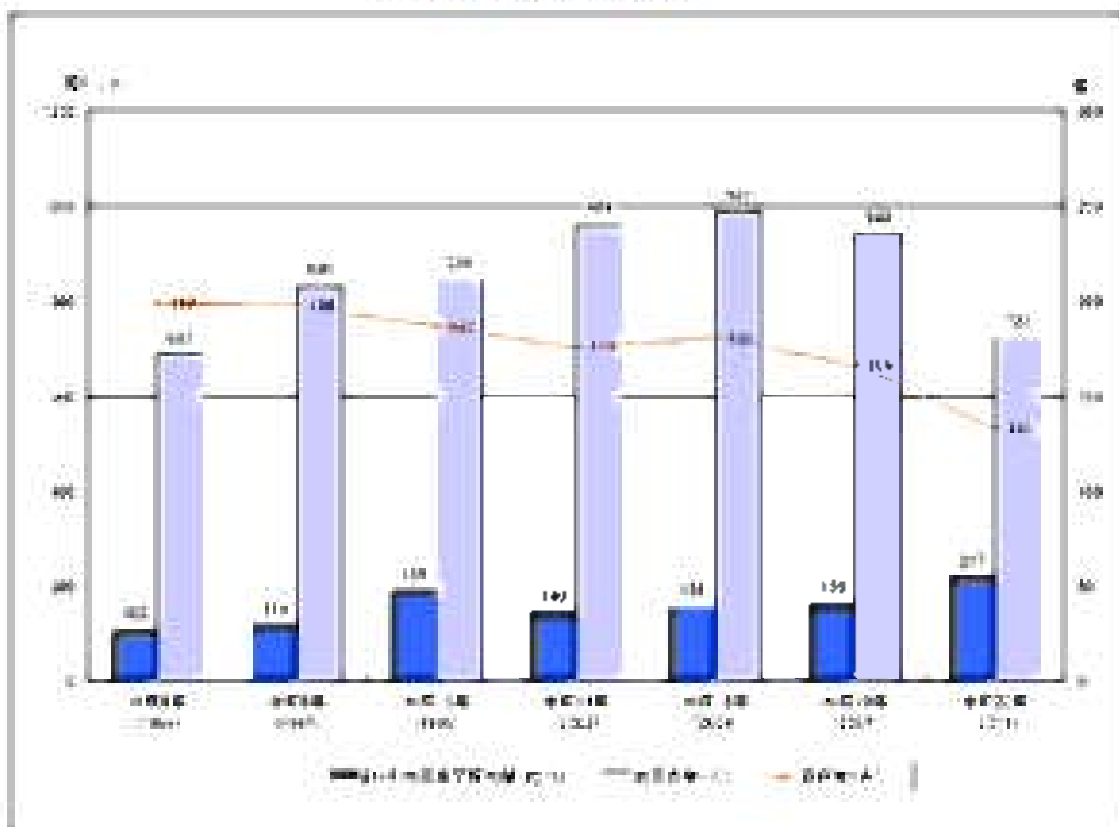
卸・小売業年間販売額は増加していますが、小規模な店舗などを中心に店舗数、従業員数は減少傾向にあります。

■多気町の商業の推移

項 目	平成6年 1994	平成9年 1997	平成11年 1999	平成13年 2001	平成16年 2004	平成19年 2007	平成21年 2011
店舗数(個)	199	198	187	176	181	166	133
従業員数(人)	687	830	844	958	987	940	722
卸・小売業年間 販売額(億円)	105	116	169	140	156	159	217

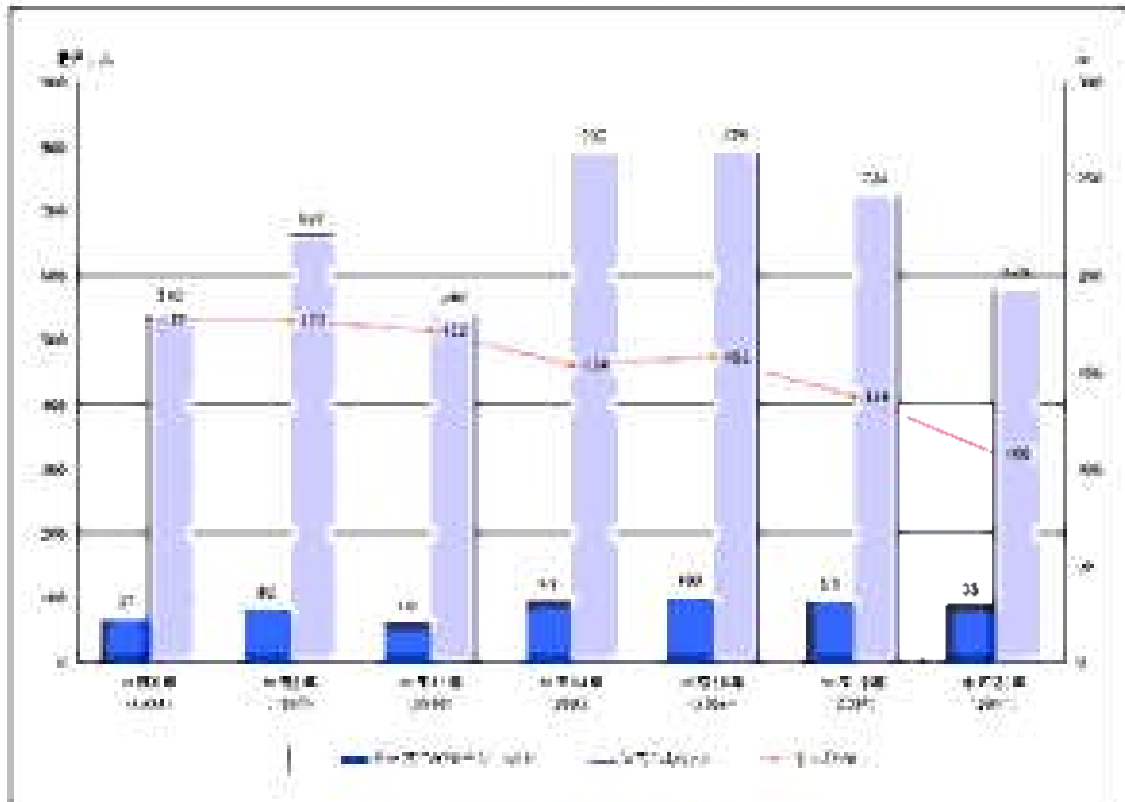
資料：多気町市町村商業統計表

■多気町の商業の推移

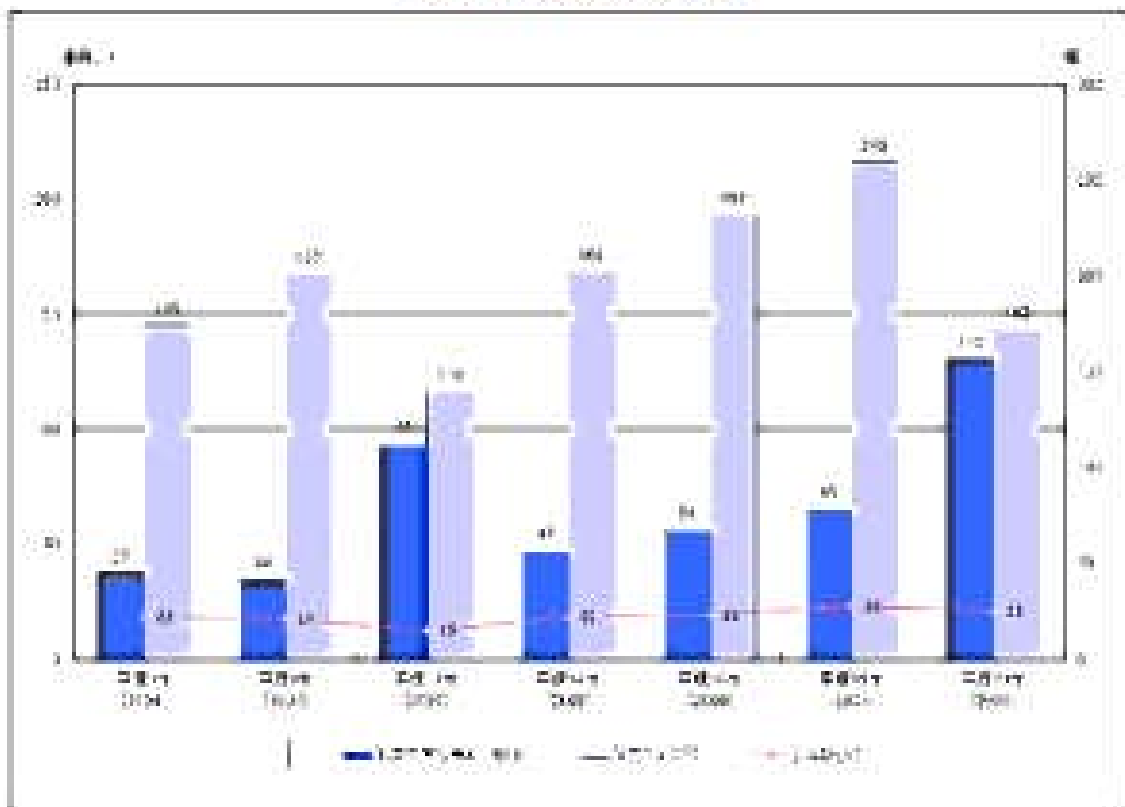


資料：多気町市町村商業統計表

■多気町の小売業の推移



■多気町の卸売業の推移



③ 農業

多気町の農業は、水稲をはじめ、みかんや柿、伊勢いも、畜産など、それぞれの特性を生かして多角的に発展してきました。

農家数、経営耕地面積、農業粗生産額は、ともに減少を示しています。

伊勢町は、松阪牛の一大産地であり、観光農業においては「五種あふるさと村」に毎年多くの人々が訪れています。

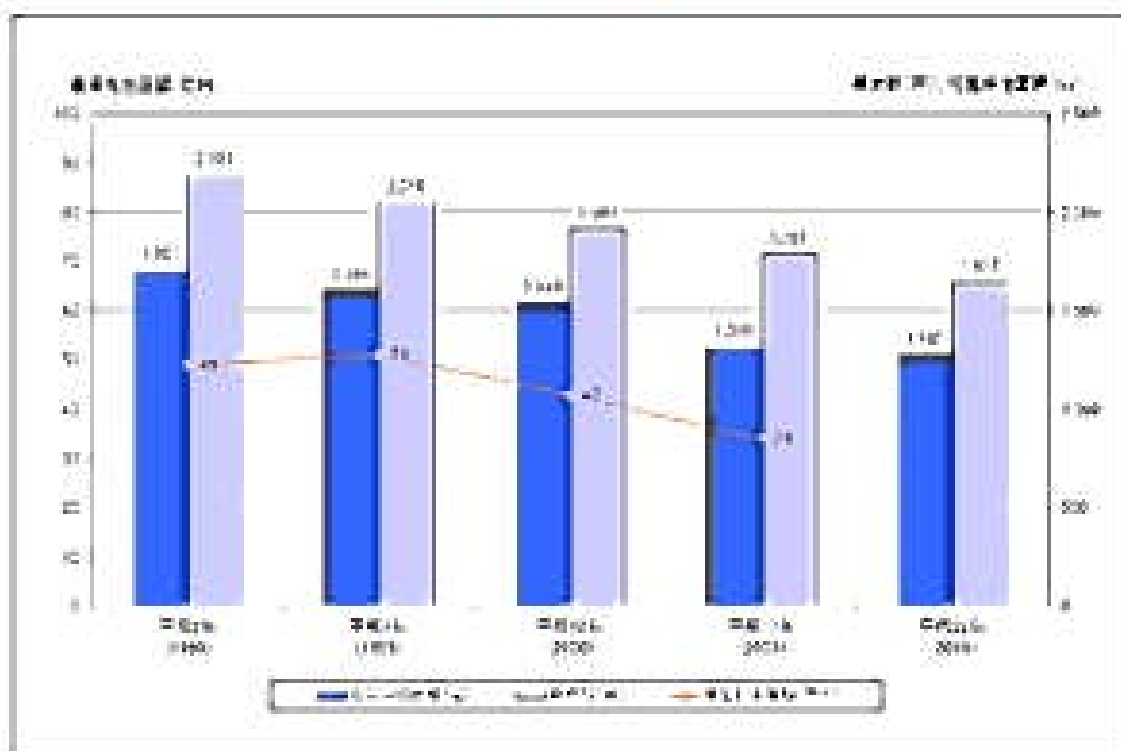
■多気町の農業の推移

目	平成 2 年 (1990)	平成 7 年 (1995)	平成 12 年 (2000)	平成 17 年 (2005)	平成 22 年 (2010)
農家数 (戸)	2,181	2,040	1,907	1,781	1,637
経営耕地面積 (ha)	1,702	1,593	1,534	1,310	1,265
農業粗生産額 (億円)	49	51	43	34	—

注：農業粗生産額は、平成 19 年度以降市町ごとの統計は行われていない。

資料：三重県市町村農業統計表、多気郡統計（2010）

■多気町の農業の推移



資料：三重県市町村農業統計表、多気郡統計（2010）

〔4〕観光・歴史資源

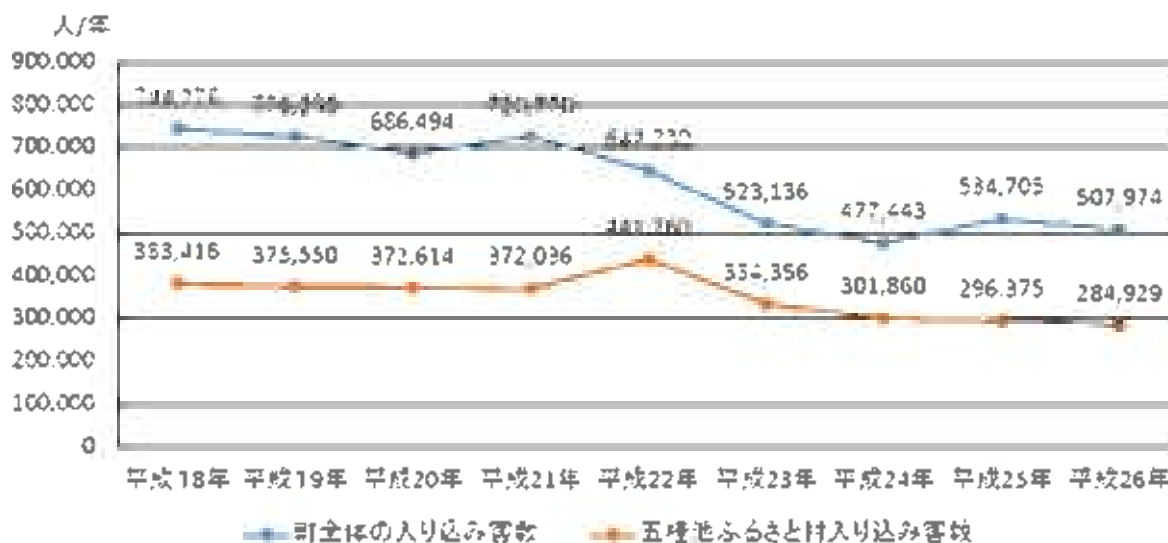
多気町の観光・歴史資源としては、「伊勢本街道」「和歌山別街道」「熊野街道」のほか、「五柱池ふるさと村」「天啓公園」「桜つつみ公園」「丹生大師」「ふれあいの館」「中山英蔵茶街公園」のほか、近年「勢和の森マウンテンバイクコース」がオープンしています。入込審数は平成24年以降、増加傾向です。

■観光資源の概要

観光資源	施設内容等
五柱池ふるさと村	・五柱池ふるさと村は農産物の販売施設や花と動物ふれあいの施設。まごの園などで構成される。
天のひのひパーク天啓	・徳泉寺の庭園と天啓池
桜つつみ公園	・佐々木下流筑の右岸緑地の桜の公園
伊勢本街道	・津留の遺跡、山笠西、山笠東、大宮宿、車馬ヶ林、浦津宿、空位丸石版、西也上宮燈籠、田丸置物街拝堂遺跡、伏拝坂
和歌山別街道	・田代燈籠
熊野街道	・女尾神領跡、浄保法師墓
丹生大師	・丹生大師（空位）ゆかりの専供で春と秋の大祭で賑わう
ふれあいの館	・丹生大師前にあり、特産物の販売が行われている。
元文の里	・元文の館、英蔵茶街園
勢和の森マウンテンバイクコース	・全長5kmの本格的コース
福徳川の船釣り	・福徳川の春先での船釣り

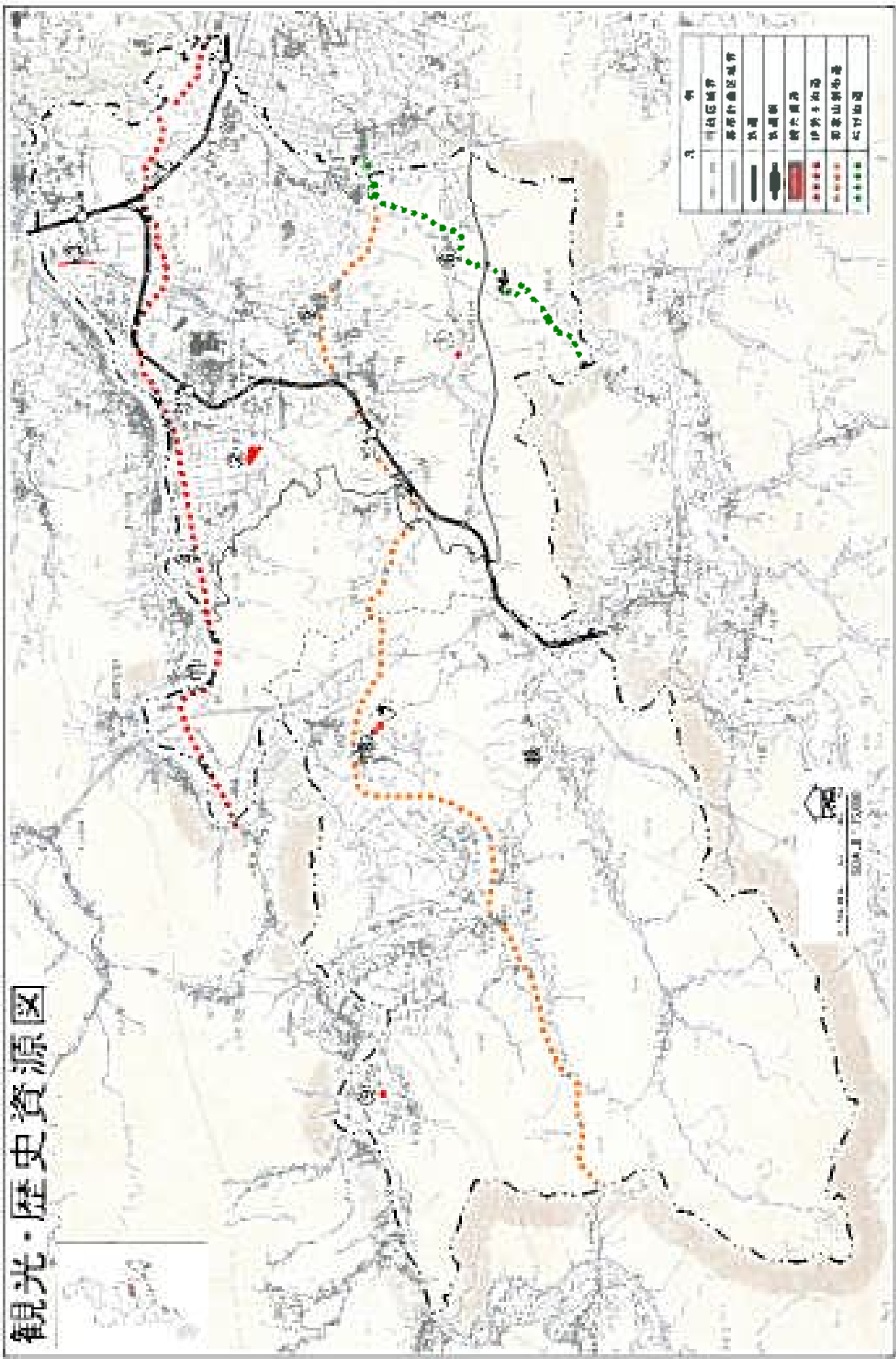
※丸数字はP2-41の図に対応

■多気町の観光レクリエーション施設入込審数の推移



資料 多気町資料

觀光·歷史資源圖



2-7 環境・景観等

(1) 自然環境

多気町は緑豊かな自然と田舎環境に包まれ、歴史的にも伊勢神宮参詣の街道筋にあたり歴史的として栄えてきた。

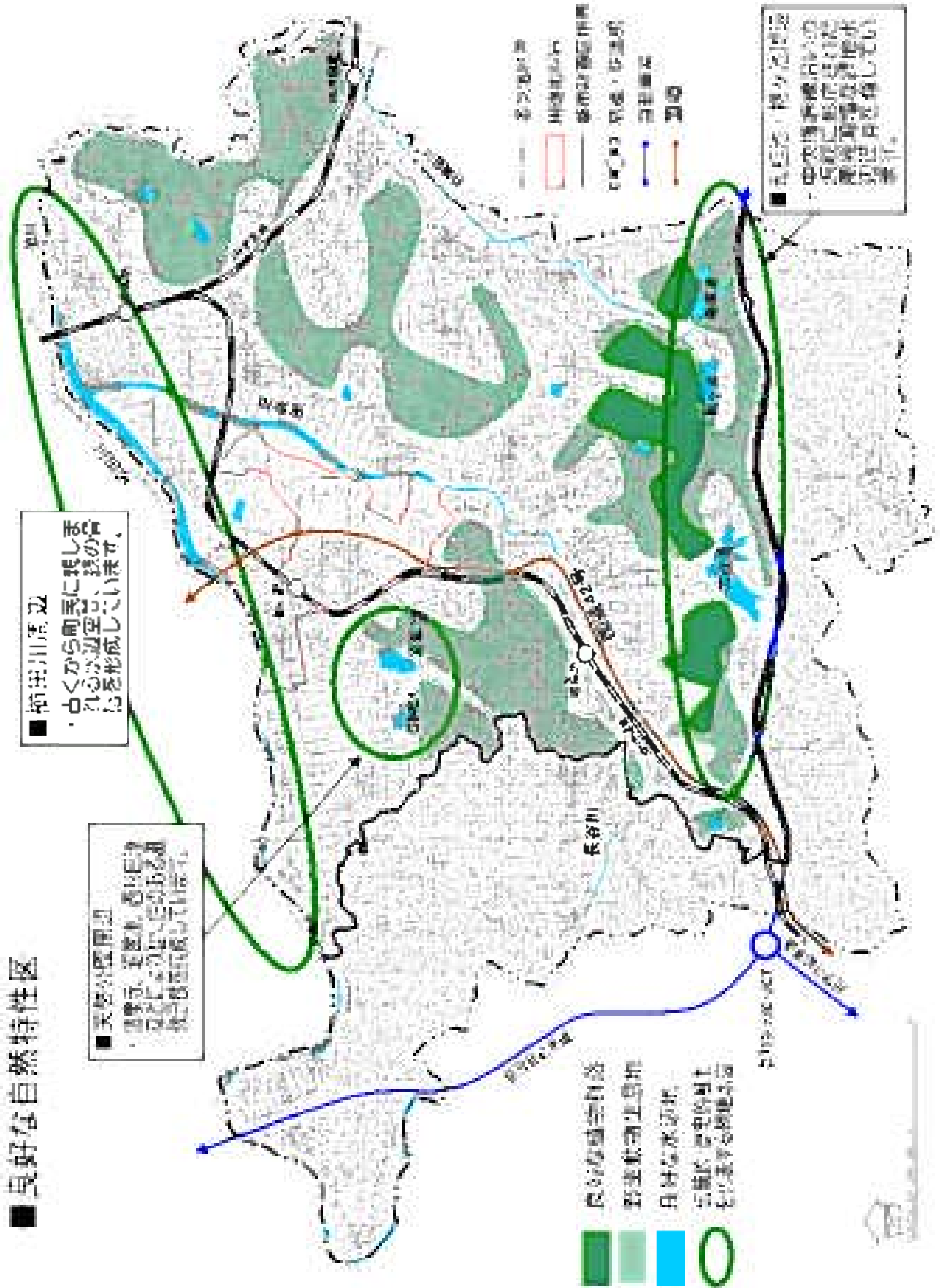
平地部には桶田川や佐奈川が流れ、所々に池や沼などの水辺も形成されています。丘陵地で平地部より規模の大きい池が存在し、五桂池周囲は五桂池ふるさと村が整備され、様々なレジャー機能を有しています。

平成21年8月に策定された多気町緑の基本計画において、良好な自然特性として以下及び次頁の良好な自然特性図が示されています。

■良好な自然特性

名称	概 要
良好な植物群落	・本区域南部のシイ・カシ類森林
野生動物生息地	・桶田川、南部樹林地
良好な水辺地	・桶田川、佐奈川、西登池、西杉根池、五桂池、栃ヶ池、松皮池
伝統的・歴史的風土を代表する緑・水辺	・桶田川周辺、天啓公園周辺、五桂池・栃ヶ池周辺

■ 良好な自然特性区



(2) 景観

① 山並み、水辺、田園景観

本区域は緑豊かな森林地域に囲まれた地形特性となっており、これらの森林が地域の緑の景観となっています。桶田川は広々とした水辺空間を構成しており、佐奈川は市街地の水辺空間として、ため池は周辺の緑と一体となって貴重な景観を形成しています。みかん、柿、伊勢いもなどの種栽園景や一面に広がる水田などの農地は、緑の山々や清流と一体となって良好な景観を形成しています。

② 市街地景観

相可古園地やクリスタルタウンは、計画的なまちづくりが進められており、良好な市街地景観を形成しています。また、多気工業団地周辺の国道42号の法面緑地は緑豊かな街路景観を形成しています。

③ 歴史的景観

伊勢本街道、和歌山別街道、東野街道などの街道面やその沿道、町内に数多く分布する社寺は歴史的景観を形成しています。

④ 交差点景観

ひのひパーク天啓や五種池ふるさと村などは交流拠点として、周辺の緑や水辺と一体となって良好な景観を形成しています。

■地区別の景観要素

地区	相可地区	佐奈地区	桶田地区	三木地区
自然	・自然公園（百井池等） ・水・地下水資源 ・花ごころ公園（萩・豊田）	・山形（神社、油壺（野寺）） ・南朝600年百木橋（町村） ・五種池の鏡池（五種）	・大塚（百内林） ・杓鹿の杜（百内林） ・谷（四郎寺（原野邊路沿い））	・桶野山（土羽） ・柿畑・農地 ・くろさしの地主地（天啓記き町（野中））
歴史・文化	・百太郎（西池上） ・水分神社（兄園） ・ふるさと館（石橋）（相可） ・伊勢本街道	・七郎（西池上） ・佐奈神社（三木） ・和歌山別街道	・大田（新白寺（四元田）） ・宮庭（はやり）地蔵（三木） ・伊勢本街道	・徳助神社（土羽） ・三木城址（三木） ・三木城址（三木） ・三木城址（三木） ・三木城址（三木）
その他		・ふるさと村、みかん（チコ博）（五種）	・伊勢亭	・柿 ・柿の園地

資料：多気町都市計画マスタープラン（ワークショッブ）

■ 景觀構成要素



2-8 防災・安全

(1) 防災

多気町は「東南海・南海地震防災対策推進地域」に指定されており、地震等災害への対策が急務となっております。これを受け、地震等災害発生後において、避難、救助をはじめ物資の輸送、公共施設の復旧等と緊急対策活動を実施するうえで重要な役割となる緊急輸送道路が12路線定められています（三重県緊急輸送道路ネットワーク計画（平成29年3月））

また、台風や集中豪雨等による風水害への対策や宅地化の進展に伴う火災への対応。さらには、森林地帯における山崩れや土砂流出等と危険箇所等の対策も必要となっており、災害時の避難場所として、公民館の集会所及び公民館等が第1次避難場所（一時的な避難所）に、小・中学校等が第2次避難所（長期的に滞在可能な避難所）に指定されています。

■緊急輸送道路

区分	道路番号・区名	町名	町名
第1次緊急輸送道路 （自動車専用道路）	・伊勢自動車道 ・伊勢自動車道	—	—
第1次緊急輸送道路 （一般道路）	・国道42号	—	—
第2次緊急輸送道路	・国道368号	—	・町西五反田 ・町相可園五反田 ・町園五反田
第3次緊急輸送道路		・町多気多気 ・町相可園相可園 ・町多気川太 ・町園多気多気	・町ゆきゆき

資料 三重県緊急輸送道路ネットワーク計画（平成29年3月）

■避難場所

地区	第1次避難所	第2次避難所
多気	各集会所の集会所及び公民館等	金田地公民館、天竺の里、豊栄センター、三ツツグセンター、在野地公民館、外城田地公民館、金田小学校体育館、相可小学校体育館、相可地公民館、多気中学校第1体育館、同第2体育館、在野小学校体育館、外城田小学校体育館、相可体育館
勢和	—	勢和公民館、三ツツグ、勢和公民館、元天の館、勢和公民館体育館、勢和中学校体育館、勢和保健センター、勢和保体育館、おれあいの館

資料 多気町HP（第2次避難所は優先避難所）

【宅地化に伴う都市型災害への対応】

- 都市型水害に強い土地利用の推進
- 排水ポンプ場の耐水性強化
- 防災施設の耐水性の確保
- 浸透、マンホール等の詰まり防止対策
- 情報収集体制の整備
- 災害時要援護者対策
- 河川の整備など

(2) 安全

通学路は交通安全とともに、防犯上の安全性確保も必要となっており、多気町においては、佐奈地区の長谷等は保護者による送迎、外城田地区の相可園は町民バスによる送迎、勢和地区についてはスクールバスによる送迎を行っています。

緊急輸送路の指定状況図



凡例

- 指定区域
- 緊急輸送路
- 指定輸送路
- 指定道路

出典：国土交通省国土院・国土情報センター

勢和地域

防災マップ

自治会界内避難所について

- 1. 避難所**
 1.1 避難所(指定避難所)は、地震発生時等の災害発生時に、被災者の生命・財産の保護を図るため、あらかじめ指定された場所であり、被災者が避難するための場所です。
 1.2 指定避難所(指定避難所)は、市町村が指定する場所であり、被災者が避難するための場所です。
 1.3 指定避難所(指定避難所)は、市町村が指定する場所であり、被災者が避難するための場所です。
- 2. 避難所**
 2.1 指定避難所
 2.2 指定避難所

第一次避難所

番号	名称	住所	備考
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

第二次避難所 (指定)

番号	名称	住所	備考
1
2
3
4

第二次避難所

番号	名称	住所	備考
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

指定避難所

番号	名称	住所	備考
1
2

防災備蓄施設一覧表

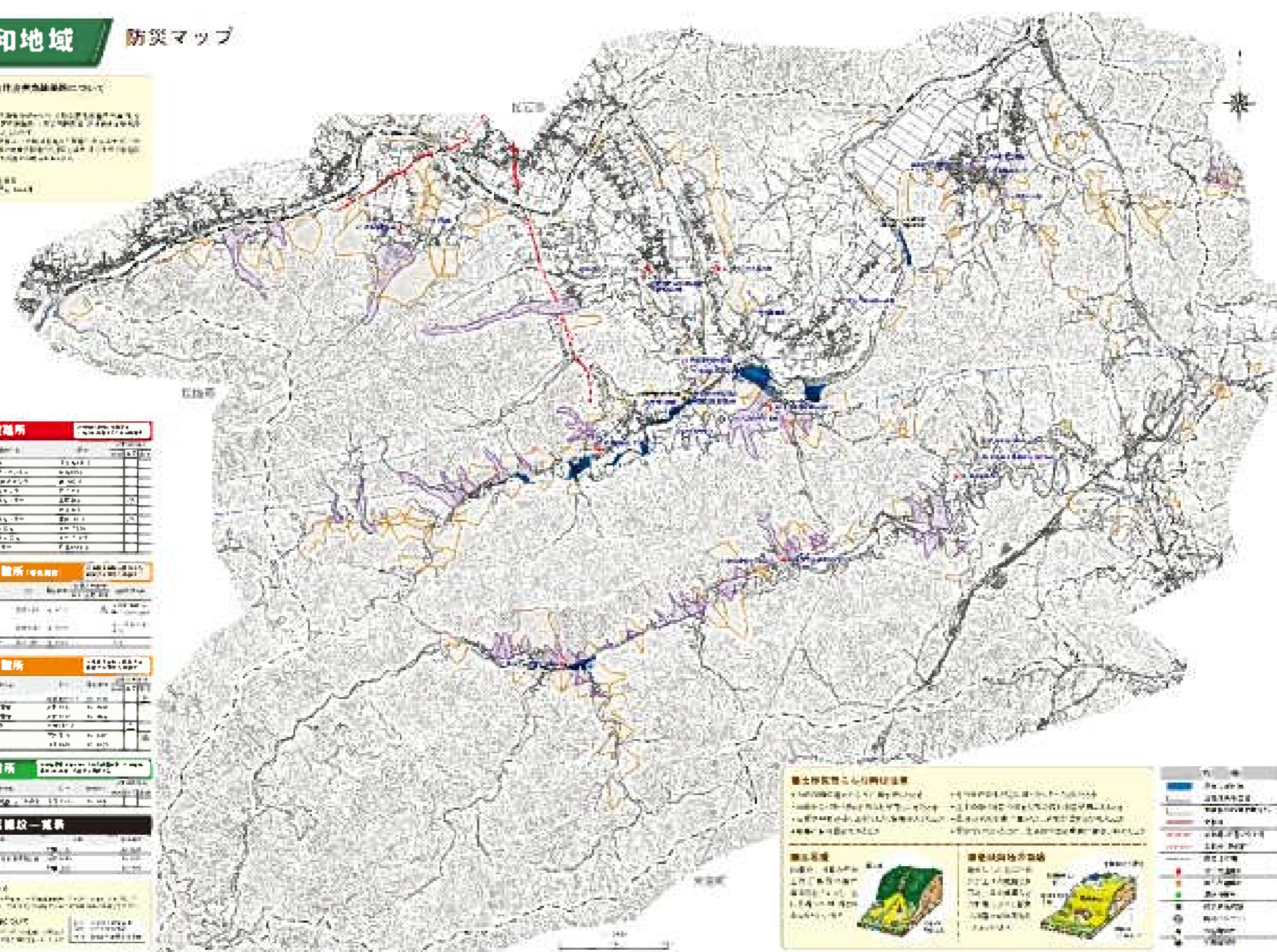
施設名	住所	備蓄品
...
...
...

防災備蓄施設

...

防災備蓄施設

...



富士野公園公民館避難所

1. 避難所(指定避難所)は、地震発生時等の災害発生時に、被災者の生命・財産の保護を図るため、あらかじめ指定された場所であり、被災者が避難するための場所です。
 2. 指定避難所(指定避難所)は、市町村が指定する場所であり、被災者が避難するための場所です。
 3. 指定避難所(指定避難所)は、市町村が指定する場所であり、被災者が避難するための場所です。

富士野公園公民館避難所

1. 避難所(指定避難所)は、地震発生時等の災害発生時に、被災者の生命・財産の保護を図るため、あらかじめ指定された場所であり、被災者が避難するための場所です。
 2. 指定避難所(指定避難所)は、市町村が指定する場所であり、被災者が避難するための場所です。
 3. 指定避難所(指定避難所)は、市町村が指定する場所であり、被災者が避難するための場所です。

出典：多岐町防災マップ（平成26年3月）